

**第 1 次滝沢市総合計画
基本構想・後期基本計画
総括報告書**

令和 6 年 4 月 1 0 日 修正版

目次

I	第1次滝沢市総合計画の総括評価について	
1	趣旨	1
2	評価対象計画	1
II	基本構想総括評価	
1	基本構想の構成	1
(1)	滝沢市の将来像	1
(2)	主要指標の分析	1
(3)	将来像に向けた取組	1
(4)	幸福と暮らしに関する指標	1
(5)	公共が担う市域全体計画	2
(6)	市民が担う地域別計画	2
(7)	土地利用計画の基本方針	2
(8)	盛岡広域都市圏における滝沢市	2
2	基本構想の実現度の評価	2
(1)	基本構想期間の滝沢市	2
(2)	幸福実感一覧表指標の評価	3
(3)	暮らしやすさ一覧表指標の評価	1 1
(4)	主要統計データの推移	4 7
(5)	主要指標の推移	5 0
(6)	滝沢市の将来像に向けた取組の評価	5 1
(7)	第2次滝沢市総合計画基本構想への反映・つながり	5 1
III	第1次滝沢市総合計画後期基本計画の総括について	
1	事業実施状況について	5 3
2	各政策、基本施策、施策の評価と達成状況について	5 3
(1)	各政策、基本施策、施策の達成状況について	5 3
(2)	後期基本計画期間内の施策目標指標の進捗状況	7 6
(3)	展開戦略の取組と成果	8 5
3	第2次滝沢市総合計画前期基本計画に向けて	8 6

I 第1次滝沢市総合計画の総括評価について

1 趣旨

「第1次滝沢市総合計画」は、滝沢市自治基本条例に掲げる本市の将来像「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向けた恒久的な取組の始まりとして、市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の基盤を創ることを目指して示した市の最上位計画です。

本報告書では、第1次滝沢市総合計画に基づき、令和4年度までの8年間で進めてきたまちづくりの取組内容及び基本構想の達成度合いを明らかにし、市民のみなさんにお伝えするとともに、令和6年度から令和13年度までを計画期間とする第2次滝沢市総合計画へ課題と改善内容を反映させることにより、よりよい地域づくりの展開へ資することを目的として作成しています。

2 評価対象計画

第1次滝沢市総合計画基本構想 【計画期間 平成27年度から令和4年度まで】

第1次滝沢市総合計画後期基本計画 【計画期間 令和元年度から令和4年度まで】

II 基本構想総括評価

1 基本構想の構成

(1) 滝沢市の将来像

滝沢市の将来像は、「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」です。

この将来像の実現に向けて、第1次滝沢市総合計画は、市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の基盤を8年間かけて創ります。

(2) 主要指標の分析

総人口5万7千人を目標人口とします。

(3) 将来像に向けた取組

市民の幸福感を育む環境づくりを促す、「市民主体の地域づくり」と、それを支える安全・安心の「セーフティネットの堅持」に取り組めます。

(4) 幸福と暮らしに関する指標

幸福感を育む地域環境の創出を「幸福実感一覧表」と「暮らしやすさ一覧表」で明らかにし、市民主体の地域づくりを進めます。

ア 幸福実感一覧表

「幸福実感一覧表」は、地域づくりにつながる、幸福感を育む市民一人一人の行動の一覧表です。

イ 暮らしやすさ一覧表

「暮らしやすさ一覧表」は、市民主体の地域づくりを支え、支援するために、市行政が取り組むべき内容を一覧にしたものです。

ウ 主要統計データ

主要統計データとは、市民主体の地域づくりに関係する、国や県などが行う統計調査の結果を一覧にまとめ、調査結果の公表が行われた場合、毎年度データの更新を行い、市民の皆さんにお知らせするものです。

(5) 公共が担う市域全体計画

市域全体計画は、滝沢市自治基本条例に基づく8つの視点の下で、市民主体の地域づくりを支える計画として、基本計画のうち、滝沢市が主体的に担う計画を指します。

(6) 市民が担う地域別計画

市民主体の地域づくりのため、地域別計画の実施の下で新たな「地域コミュニティ」の仕組みを構築します。

(7) 土地利用計画の基本方針

幸福感を育む地域環境の土台として、人と人とが結ばれる集約・連携型都市構造の形成を図ります。

(8) 盛岡広域都市圏における滝沢市

連携中枢都市圏構想を踏まえ、第1次滝沢市総合計画では、盛岡広域都市圏におけるICT（情報通信技術）関連産業の拠点の実現と、自立した地域づくりに向けた地域産業と公共交通網の整備への取組を始めます。

2 基本構想の実現度の評価

(1) 基本構想期間の滝沢市

平成27年度から令和4年度までの8年間は、市の将来像として掲げる「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向け、市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の基盤づくりに取り組んできました。

平成29年4月には、新生滝沢市のシンボルとしての「みんなでつくるふれあいの大屋根」ビッグルーフ滝沢がフルオープン、また、平成31年4月には、本市で9番目の小学校となる滝沢中央小学校の開校、市中心部を走る東北縦貫自動車道での滝沢中央スマートインターチェンジの供用開始など、人とのつながりの創出や、自立した地域づくりに向けた様々な基盤整備を進めてきました。

加えて、市民が幸福を実感するうえで最も重要な要素となっている「健康」の増進に向け、平成30年7月には「健康づくり宣言」を行い、総合的な健康づくり活動に取り組んできました。

他方、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、国内では初の緊急事態宣言が発出されるなど、様々な場面でこれまで「当たり前」に行われていたことに制限がかかり、市民生活にも大きく影響が生じています。また、市の目指す将来像に向けた取組も、計画策定当初からは変更を余儀なくされたものが多々ありました。

そのような状況にあっても、「幸福感を育む環境づくり」のためには、市民それぞれが幸福を感じることができるよう目標に向かって行動する中で、「人とのつながり」を通じて、それぞれの価値観を尊重しながら社会として「心の豊かさ」を育むことが重要であり、そのための市の役割として、市民が行動するための基礎的な環境づくり、つまり幸福感の下支えを担うことで、市民主体の地域づくりを実現するための事業を展開してきました。

市民主体の地域づくりについては、基本計画を構成する両輪の「地域別計画」と「市域全体計画」を策定し行動してきたことで、行政主体による市政展開ではなく、「自分たちが主役（担い手）」であるという機運が醸成されてきたものと考えられます。

(2) 幸福実感一覧表指標の評価

第1次滝沢市総合計画基本構想において、市民が主体的に行動し、「幸福感を育む地域環境の創出」に向けて活動するための一助として定めた「幸福実感一覧表」では、各場面や世代ごとに取組の成果を図るための指標と、基本構想期間における目標値を設定し、毎年度測定することで取組成果や課題の把握を行い、改善に活かしてきました。

7つの世代ごとに5つの場面で指標を設定した幸福実感一覧表は、計画最終年度である令和4年度に目標値を達成した項目の割合は約22.9%という厳しい状況ではありましたが、その中にも約51.4%の項目で基準値（平成26年度数値）から上昇しており、取組に一定の成果が見えました。

※表1 幸福実感一覧表の目標値達成状況（目標値達成◎ 基準値上回る○ 基準値以下△）

	喜び・楽しさ	成長・学び	生活環境	安全・安心	人とのふれあい
すこやか世代	○	○	○	◎	◎
学び・成長世代	△	◎	◎	◎	△
自立世代	△	△	△	◎	○
子育て世代	△	○	△	△	△
充実世代	△	△	△	○	△
円熟世代	△	○	△	◎	○
全世代	◎	△	△	○	○

「幸福実感一覧表」は、市民の年代と生活の場面ごとに、それぞれ幸福感を育む行動をまとめ、それを測定する「象徴指標」と「目標値」、また具体的にどのような行動をとれば幸福感を育めるかという「行動例示」を掲げています。

この一覧表の策定に際しては、自治会をはじめとした各種団体との懇談会やグループインタビュー、市内小中学生や大学生の協力をいただきながら、市民のみなさんが実際に感じる「幸福感」に極力近づける形での策定を行いました。

各世代や場面、年度ごとの推移については次のとおりです。

象徴世代（0歳～5歳）

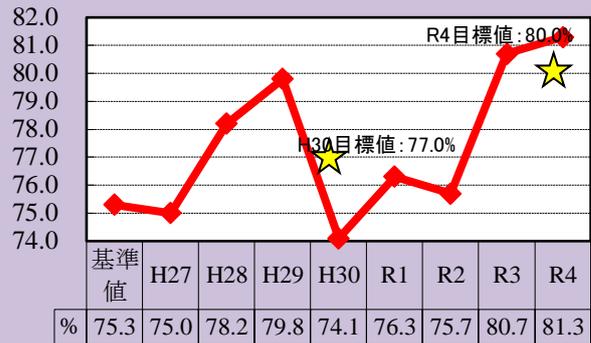
すこやか世代



POINT

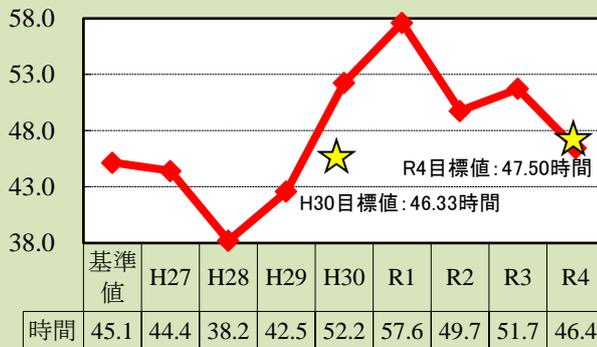
「人とのふれあい」「安全・安心」の場面で目標値を上回る数値となった一方、「喜び・楽しさ」「成長・学び」「生活環境」の場面では目標値を下回る結果となりました。多くの場面で平成30年、令和元年を境に数値の変動傾向に変化があることから、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けていることが想定されます。

場面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)大切に见守られていること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもが大切に育てられていると感じている人の割合



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	(子どもに)みんなが笑顔で接してくれること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもと一緒に過ごす時間 (1週間)

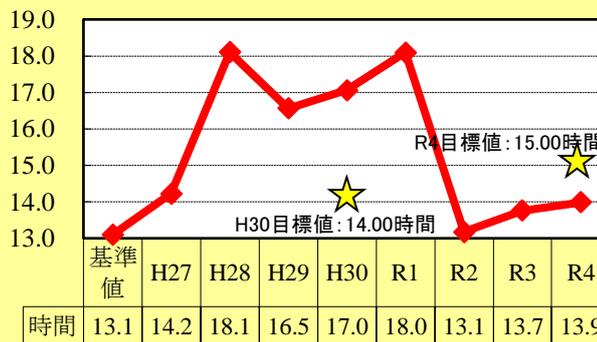


場面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもに)良い食習慣が身に付いていること
象徴指標 (下記グラフ)	家族一緒に食事をする回数 (1週間)



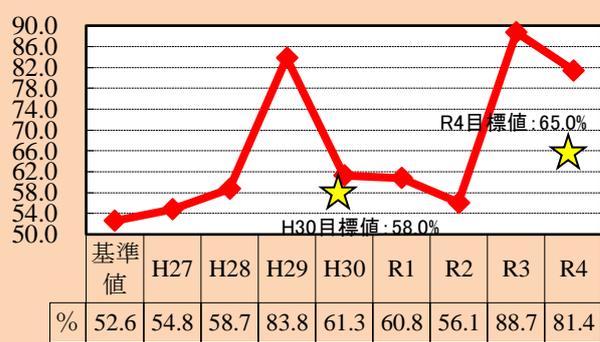
※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場面	生活環境
幸福状態の例	(子どもが)身近に体を動かして遊べる機会があること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもが屋外で過ごす時間 (1週間)



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場面	安全・安心
幸福状態の例	親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合



象徴世代（6歳～17歳） 学び・成長世代

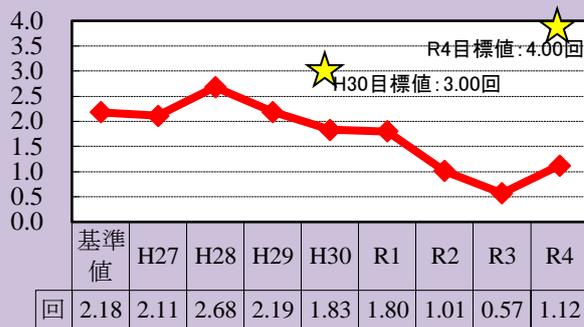


POINT

「成長・学び」「生活環境」「安全・安心」の場面で目標値を上回る数値となった一方、「人とのふれあい」「喜び・楽しさ」の場面では目標値を下回る結果となりました。子どもが地域行事に参加した回数は平成28年度をピークに減少傾向が続いていましたが、令和4年度には増加に転じました。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)積極的に地域に関わっていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	(子どもが)地域行事に参加した回数



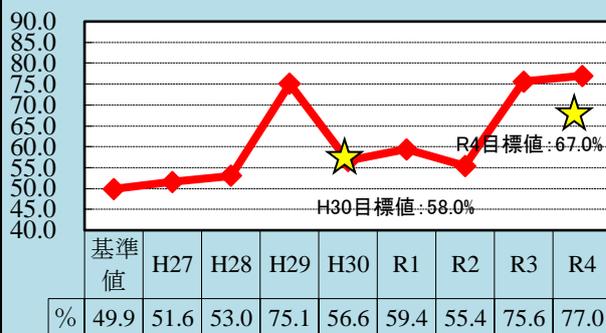
※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	(子どもが)楽しい学校生活を過ごせること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	仲の良い友達の数

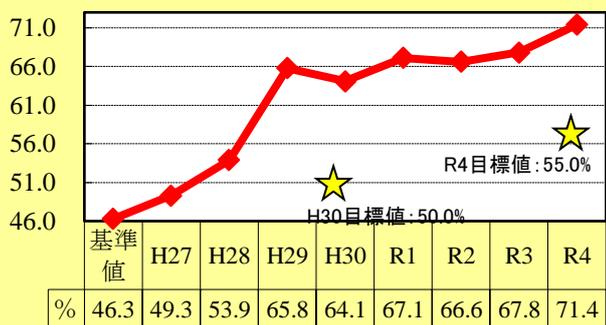


※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもが)夢中になって取り組めることがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合

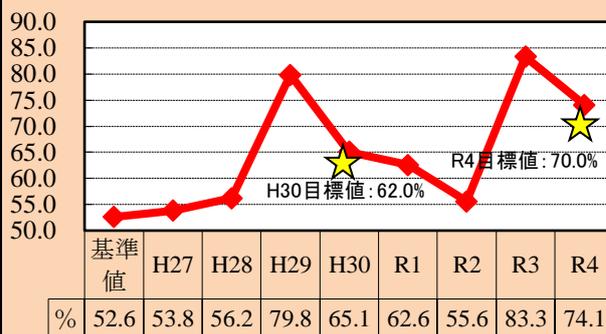


場 面	生活環境
幸福状態の例	地域の皆さんに(子どもが)見守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが安全に通学できると感じる人の割合



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	(子どもが)悩みを相談できる相手や機会を持っていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合



象徴世代（18歳～49歳）

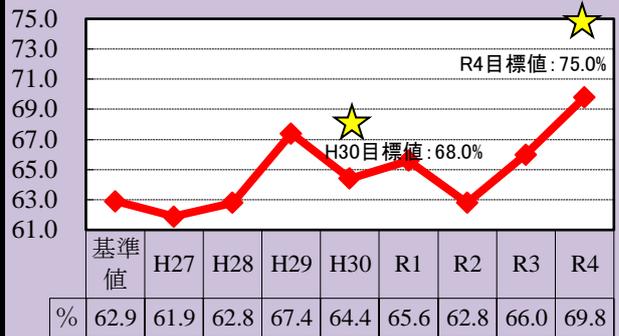
自立世代



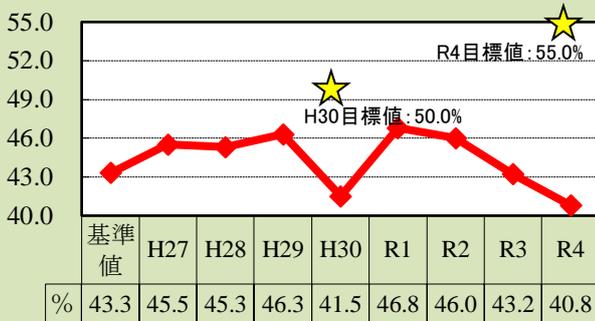
POINT

「安全・安心」の場面では目標値を上回りましたが、それ以外の場面では目標値を下回る結果となりました。地域の居心地の良さ、地域行事への参加については増加傾向にあるものの、人とのふれあいによる人間関係の良さ、知識や技術を活かす場面は減少傾向にあり、新しい生活様式において求めるものの変化が見えます。

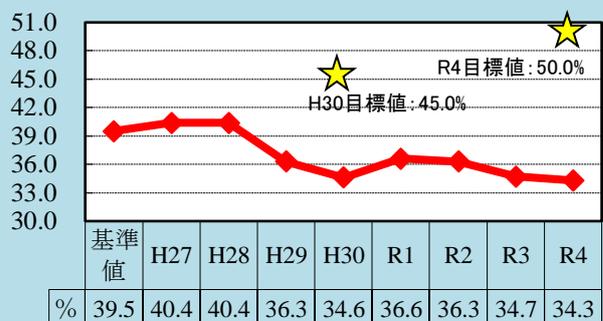
場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域に仲間がいること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の居心地が良いと思っ ている人の割合



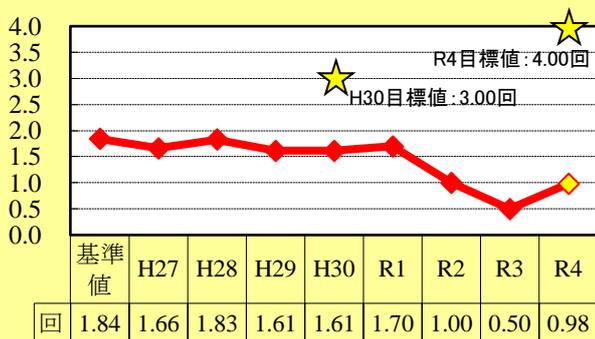
場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合



場 面	成長・学び
幸福状態の例	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合

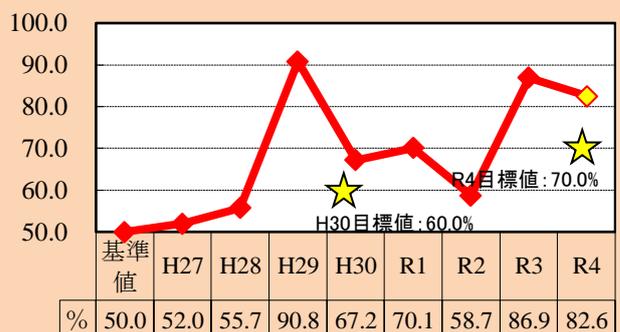


場 面	生活環境
幸福状態の例	地域の皆さんと交流の機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域のお祭りや行事に参加した回数



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと
象 徴 指 標 (下記グラフ)	保育園、幼稚園、小学校などの行事へ参加している人の割合



象徴世代（18歳～49歳）

子育て世代



POINT

全ての場面で目標値を下回る結果となりました。地域活動への参加や情報収集・発信については増加傾向となっていることから、コロナ禍以前の状態に戻ってきたことが伺える一方で、学校や仕事の状況がコロナ禍以前の状況に戻り、一緒に過ごす時間が減ったことが子どもとの会話の時間が減少した要因と推測できます。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場面	人とのふれあい
幸福状態の例	親と子供の関係が良好であること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもと一緒に地域活動をした回数



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

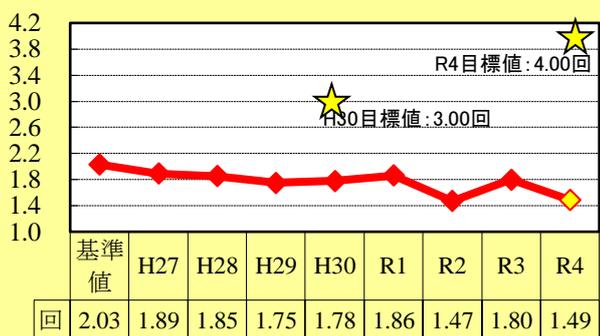
場面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	子どもたちの成長を確認できること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもとの会話の時間 (1週間)



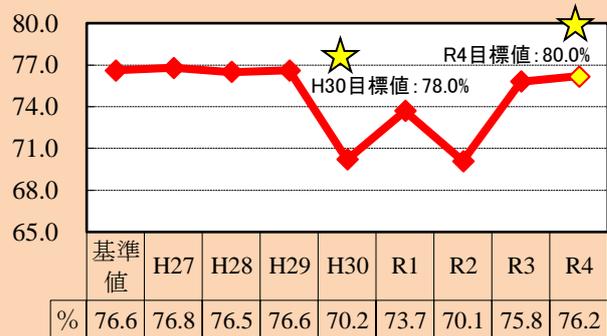
場面	成長・学び
幸福状態の例	情報時代に適応したモラル、スキルを学び、活かす機会があること
象徴指標 (下記グラフ)	広報やインターネットなどで、地域の情報を収集・発信している人の割合



場面	生活環境
幸福状態の例	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること
象徴指標 (下記グラフ)	参加したいと思える地域行事の数



場面	安全・安心
幸福状態の例	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること
象徴指標 (下記グラフ)	家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合



象徴世代（50歳～64歳）

充実世代



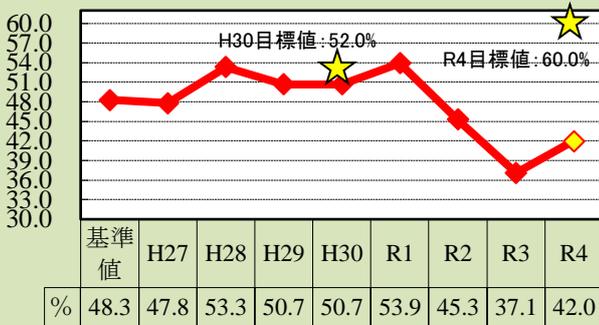
POINT

全ての場面で目標値を下回る結果となりました。地域への参加や趣味・特技へ取り組む機会は増加に転じましたが、地域活動と自分の活動の両立、自然と親しむ機会は減少していることから、自分の時間が確保できない状況が推察できます。また、老後の生活設計については、コロナ禍による物価高騰等が影響していることも考えられます。

場面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域活動などに無理なく参加できる機会があること
象徴指標 (下記グラフ)	地域活動と自分の活動を両立できていると感じている人の割合



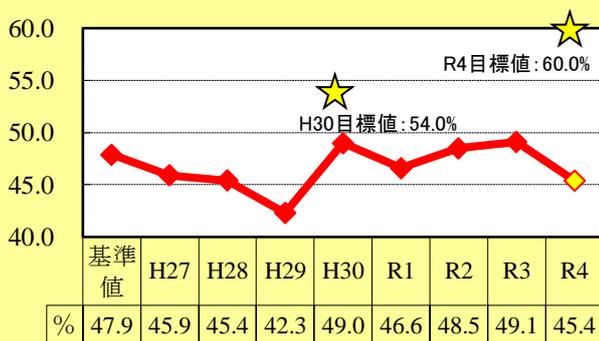
場面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	世代を越えて交流する機会があること
象徴指標 (下記グラフ)	ここ一年で地域活動に参加した人の割合



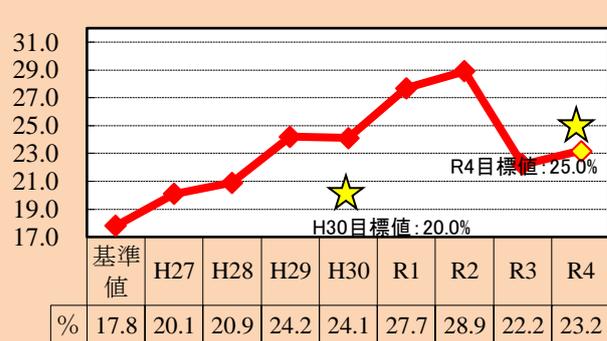
場面	成長・学び
幸福状態の例	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること
象徴指標 (下記グラフ)	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合



場面	生活環境
幸福状態の例	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること
象徴指標 (下記グラフ)	定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合



場面	安全・安心
幸福状態の例	老後の生活設計が描けること
象徴指標 (下記グラフ)	老後の生活設計に不安がない人の割合



象徴世代（65歳～）

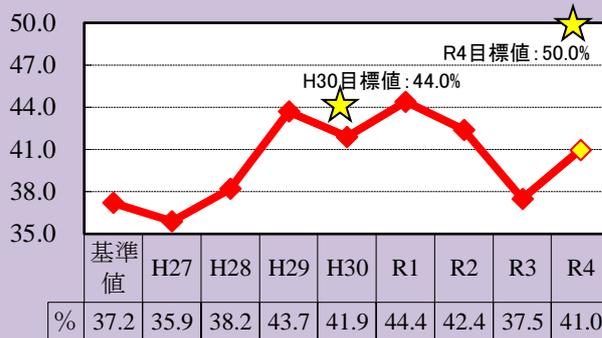
円熟世代



POINT

目標値を上回る結果となったのは「安全・安心」の場面のみですが、人のかかわりが関係する数値は増加に転じたことから、コロナ禍における行動制限が緩和され始め、もとの生活に戻りつつあることが推察できます。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域にお互い支え合い、助け合う仕組みが整っていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域とつながっていると感じている人の割合



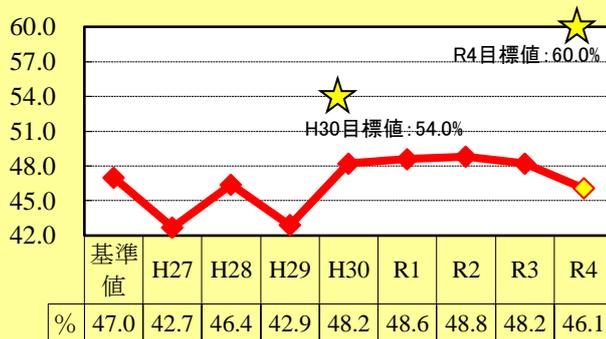
場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の役に立つ機会を持っていると感じている人の割合



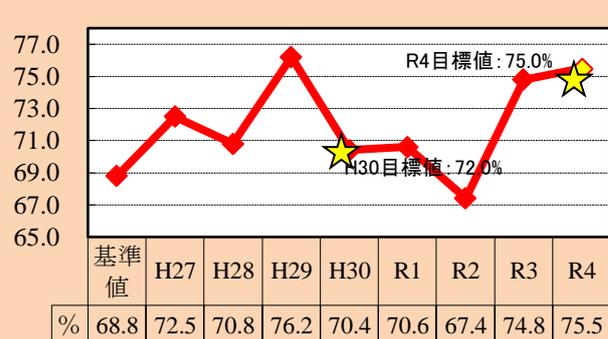
場 面	成長・学び
幸福状態の例	地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合



場 面	生活環境
幸福状態の例	豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	自分の散歩コースを持っている人の割合



場 面	安全・安心
幸福状態の例	いざという時にも、助け合える繋がりがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合



象徴世代 全世代



POINT

「喜び・楽しさ」以外の場面では目標値を下回る結果となりましたが、全ての場面で増加に転じたことから、今後この流れを止めずに伸ばしていくことが重要です。また、滝沢市で幸せに暮らしている、滝沢市に愛着がある人の割合は、基準値を上回っており、8年間の取組みの成果が表れているものと考えられます。

場面	人とのふれあい
幸福状態の例	市民が互いに支え合いながら、幸せを実感して暮らせること
象徴指標 (下記グラフ)	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



場面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	世界や全国で活躍する人材を育む滝沢市であること
象徴指標 (下記グラフ)	芸術文化およびスポーツに関する市特別表彰の件数(累計数)

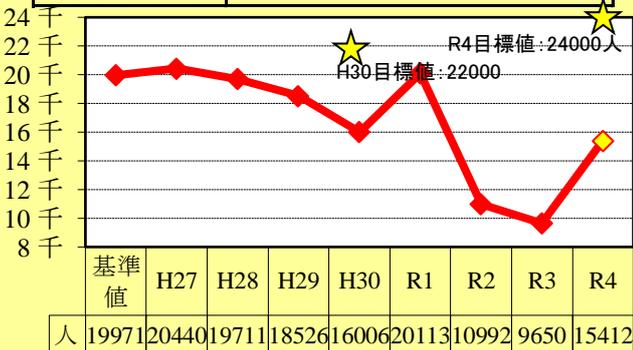


場面	成長・学び
幸福状態の例	チャグチャグ馬コが受け継がれていること
象徴指標 (下記グラフ)	チャグチャグ馬コの滝沢市からの参加馬数



※R2, R3は新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から行事は中止となっています。

場面	生活環境
幸福状態の例	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること
象徴指標 (下記グラフ)	地域清掃活動への参加者数



場面	安全・安心
幸福状態の例	滝沢市の暮らしに安心感と愛着があること
象徴指標 (下記グラフ)	滝沢市に愛着がある人の割合



(3) 暮らしやすさ一覧表指標の評価

第1次滝沢市総合計画基本構想において、市民主体の地域づくりを支え、支援するために市行政が取り組むべき内容を示した「暮らしやすさ一覧表」において定めた74の代表指標による8年後「めざそう値」は26項目、約35.1%の達成と、全体の半分に満たないという結果であり、めざす地域の姿の実現に向けては未だ発展途上であると言えます。しかしながら、74項目中48項目の代表指標では、基準となる平成26年度の数値を上回っており、最適化条件を満たすための基盤づくりは着実に進捗しているものと捉えられます。

また、8つの視点ごとの状況を見ると、「支えあう」「集う」の2つの視点の最適化条件に係る代表指標は、達成状況がそれぞれ12.5%、0%となっている一方で、「暮らす」の視点の最適化条件に係る代表指標は60%の達成状況、7割以上の指標で基準値を上回る状況であることから、市民が安全で快適な暮らしを実感するためのセーフティネットの堅持は図られているものと捉えられます。

※表2 暮らしやすさ一覧表のめざそう値達成状況（めざそう値達成◎ 基準値上回る○ 基準値以下△）

視点	視点が描く 「めざすまちの姿」	代表指標	達成 状況	達成率
活かす	恵まれた自然環境を 身近に感じ、暮らし に活かすまち	1日当たりのごみ排出量（住民1人当たり）	○	33.3%
		鞍掛山登山者数	◎	
		豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合	△	
支えあう	互いに支えあい、 人とのふれあいが 生活に潤いを 与えるまち	地域活動に参加している人の割合	△	12.5%
		隣り近所とのつきあいがある人の割合	○	
		自主防災組織訓練参加者数	△	
		災害に強いまちだと感じている人の割合	◎	
		家庭内での役割分担に満足している人の割合	○	
		滝沢市のボランティア登録団体数	△	
		滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合	○	
ここ1年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合	○			
輝く	みんなが健康づくりに 取り組み、一人一人が 輝きながら、安心して 暮らせるまち	自分が心身ともに元気と感じている人の割合	○	33.3%
		老後の不安なく暮らせると感じている人の割合	◎	
		子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合	○	
		障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合	○	
		シルバー人材センター加入人数（60歳以上人口1,000人当たり）	△	
		健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数	△	
		かかりつけ医を持っている人の割合	○	
		放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合	○	

		子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合	◎	
暮らす	安全で快適な暮らしが実感できるよう、みんなで取組むまち	交通安全発生件数	◎	60.0%
		地域の医療に安心感を持っている人の割合	◎	
		市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合	△	
		滝沢市に愛着がある人の割合	○	
		住民基本台帳（9月末現在）による人口	○	
		滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合	○	
		新規住宅着工数	◎	
		浸水被害件数	◎	
		水洗化率（行政区域内人口に対する合併処理浄化槽も含めた水洗化率とする）	◎	
		滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合	◎	
		経営資本営業利益率（上水道/下水道）	△	
		漏水率	◎	
		総合計画を知っている人の割合	○	
		滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合	○	
		窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合	◎	
		実質赤字比率等の財務諸指標	△	
		電子申請等の利用率	◎	
		固定資産評価審査委員会の容認決定件数	◎	
		一般税・目的税の収納率	◎	
		納期内納付の割合	◎	
		伝票等返却率	◎	
		連携事業の取組数	△	
		事務改善報告件数	◎	
システム安定稼働率	△			
職員の研修参加者数	◎			
学ぶ	子どもから高齢者まで、夢を抱き、夢に向かって互いに学び合い、成果を活かせるまち	趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合	△	33.3%
		学校トイレの環境改善率	◎	
		体育施設の利用者数	△	
		1年間無欠席の児童生徒の割合	◎	
		夢に向かって努力している人の割合	△	
		学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校/中学校）	△	

		子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合	◎	
		学校給食食材生産供給組合からの年間納入量	△	
		種目別協会の登録者数及び会員数	△	
働く	雇用環境が充実し、みんなが安心して生き生きと働けるまち	法人事業所数	◎	42.6%
		農業後継者（販売農家）の有無の割合	△	
		現在の仕事に満足している人の割合	○	
		子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合	◎	
		IPU イノベーションセンター・パークへの立地件数	○	
		セミナー、フォーラム等の交流事業の回数	◎	
		滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合	△	
受け継ぐ	次世代に伝統と文化を受け継ぎ、ふるさとに愛着を持てるまち	郷土芸能団体数及び会員数	○	33.3%
		滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数	◎	
		チャグチャグ馬コの入込客数	△	
集う	地域と世代を超えて集い、人との関わりに幸せを実感して地域づくりができるまち	広報たきざわを読んでいる人の割合	○	0.0%
		人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合	○	
		ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合	△	
		普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合	○	
		人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合	○	
		市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数	△	

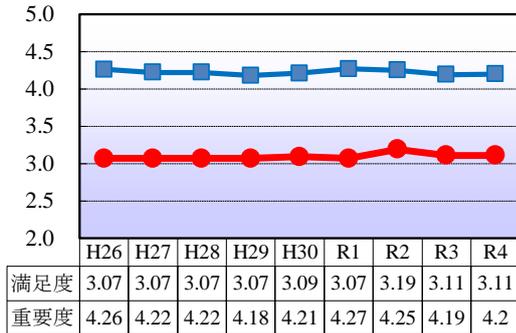
「暮らしやすさ一覧表」は、市行政が市民主体の地域づくりを支え、支援するために取り組むべき内容を一覧にしたもので、分類としては、滝沢市自治基本条例第5条に規定する8つの「めざす地域の姿」ごとに視点を定め、その視点を通し第1次滝沢市総合計画がめざすまちの姿を設定しています。そしてその下に45の「最適化条件」を定め、最適化条件を満たすための「代表指標」と、「めざそう値（目標値）」を設定しています。

各視点や最適化条件、代表指標ごとの推移については次のとおりです。

最適化条件No. 1

自然環境に配慮する取組が行われている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

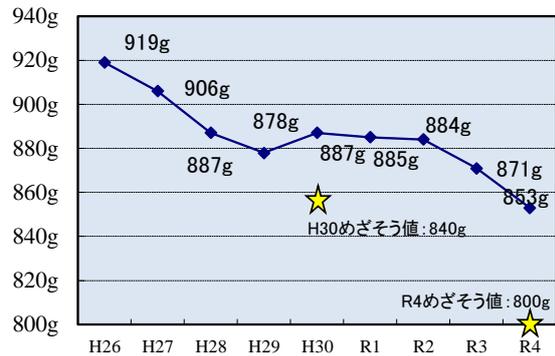
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は変わらず、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.09ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No. 1

1日当たりのごみ排出量（住民1人当たり）

指標の推移とめざそう値



◆ 住民1人1日当たりのごみ排出量

■ 出典：市民環境部環境課

【定義】 住民1人1日あたりのごみ排出量(g)

【動き】 前回と比べて、18g減となりました。

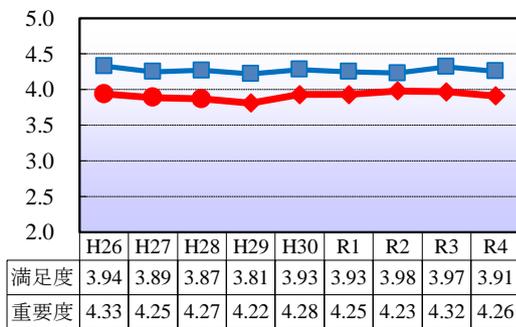
R4めざそう値とは53gの差がありました。

※減少した方が望ましい指標です。

最適化条件No.2

自然とふれあえる環境がある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント減、重要度は0.06ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.35ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.2

鞍掛山登山者数

指標の推移とめざそう値



◆ 鞍掛山登山者数

■ 出典：経済産業部観光物産課

【定義】 1年間に鞍掛山登山を行った人の数

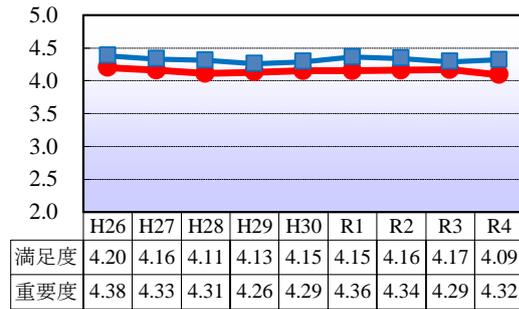
【動き】 前回と比べて、3千人増となりました。

R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.3

市に豊かな自然がたくさん残されている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.08ポイント減、重要度は0.03ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.23ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおおむね増加傾向となりました。

代表指標No.3

豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

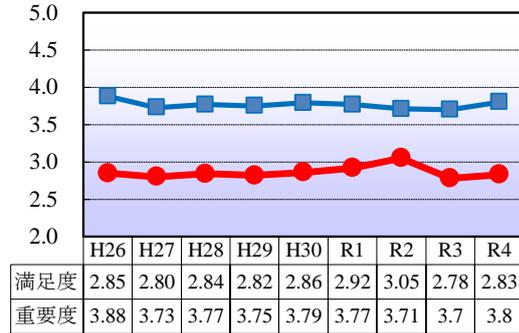
【動き】前回と比べて2.3ポイント減となりました。

R4めざそう値とは4.5ポイントの差がありました。

最適化条件No.4

みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

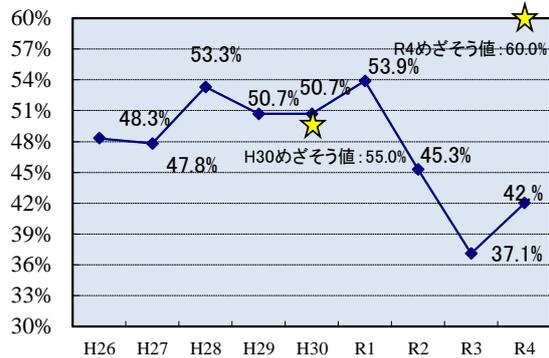
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.1ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.97ポイントと、市民ニーズの推移としては、比較的低い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.4

地域活動に参加している人の割合

指標の推移とめざそう値



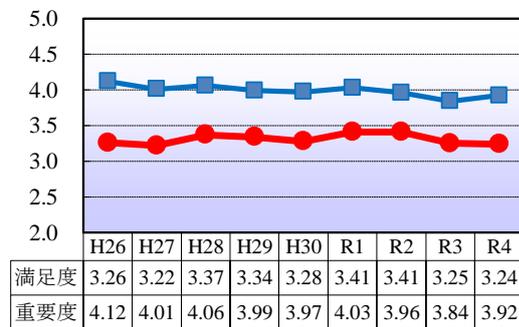
■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】ここ1年で地域活動に参加した人の割合
【動き】前回と比べて4.9ポイントの増となりました。R4めざそう値とは18ポイントの差がありました。

最適化条件No.5

隣り近所とのつきあいがある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

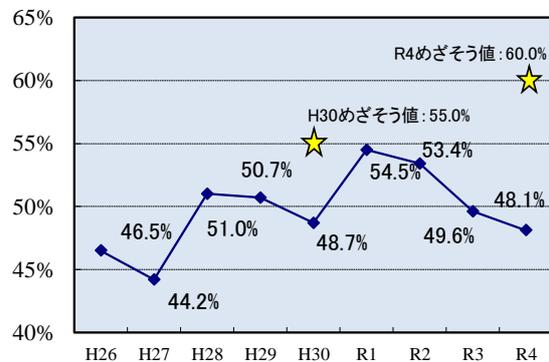
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.01ポイント減、重要度は0.08ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.68ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向となりました。

代表指標No.5

隣り近所との付き合いがある人の割合

指標の推移とめざそう値



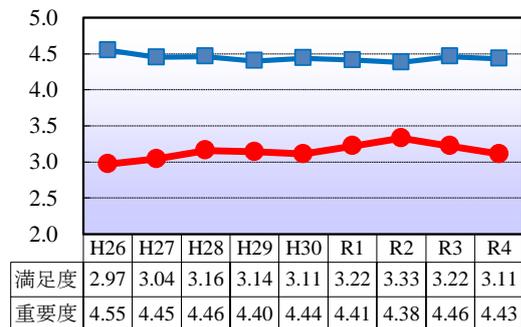
■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】隣り近所との付き合いがあると感じている人の割合
【動き】前回と比べて1.5ポイント減となりました。R4めざそう値とは11.9ポイントの差がありました。

最適化条件No.6

地域に安心できる防災の仕組みがある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

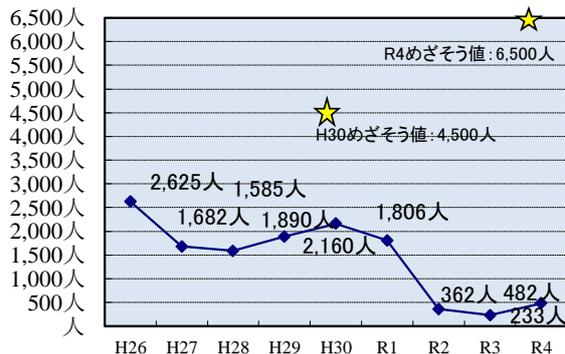
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.11ポイント減、重要度は0.03ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.32ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.6-1

自主防災組織訓練参加者数

指標の推移とめざそう値



◆ 自主防災組織訓練参加者数

■ 出典：市民環境部防災防犯課

【定義】 自主防災組織訓練へ参加した人の数

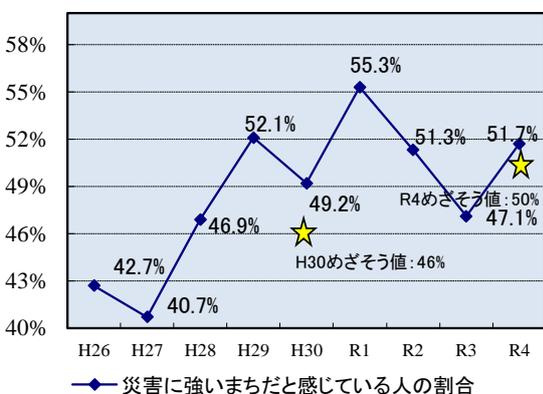
【動き】 前回と比べて249人増となりました。

R4めざそう値とは6,018人の非常に大きな差がありました。

代表指標No.6-2

災害に強いまちだと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 滝沢市は災害に強いまちだと感じている人の割合

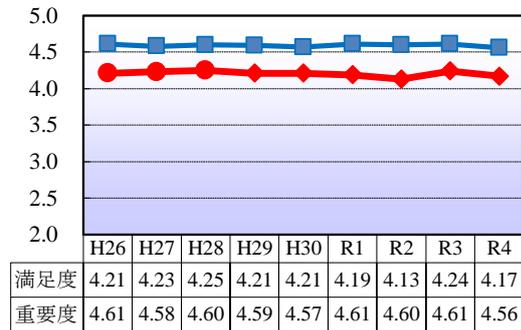
【動き】 前回と比べて4.6ポイント増となっています。

R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.7

家族がお互いに支え合っている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

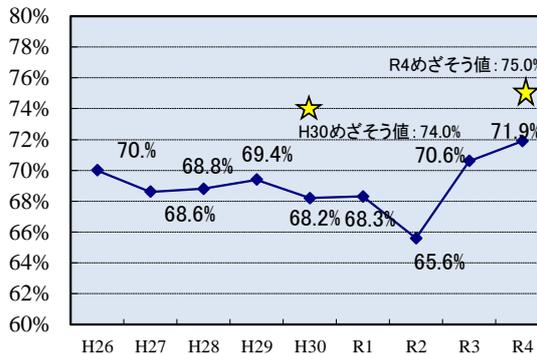
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.07ポイント減、重要度は0.05ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.39ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.7

家庭内での役割分担に満足している人の割合

指標の推移とめざそう値



● 家庭内での役割分担に満足している人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

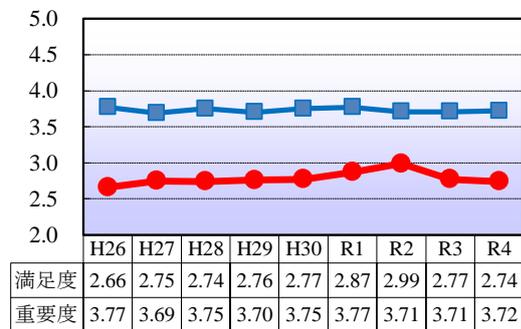
【定義】 家庭内の役割分担に満足している人の割合

【動き】 前回と比べて、1.3ポイント増となりました。R4めざそう値とは3.1ポイントの差がありました。

最適化条件No.8

ボランティアやNPO活動が活発である

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

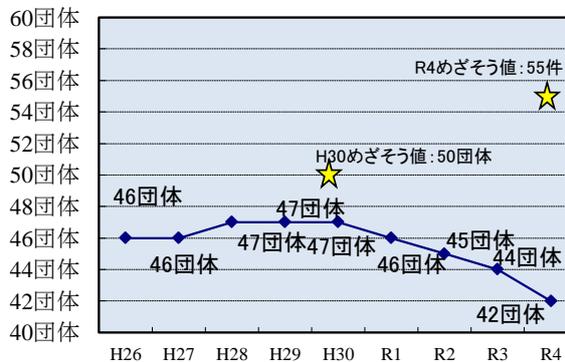
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント減、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.98ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.8

滝沢市のボランティア登録団体数

指標の推移とめざそう値



● 滝沢市のボランティア登録団体数

■ 出典：健康福祉部地域福祉課

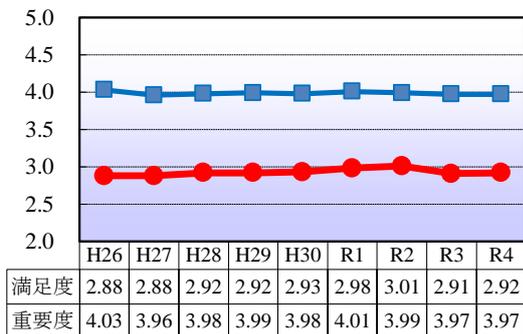
【定義】 滝沢市においてボランティア団体として登録している団体

【動き】 前回と比べて、2団体減となりました。R4めざそう値とは13団体の差がありました。

最適化条件No.9

地域の中に支え合う仕組みがある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

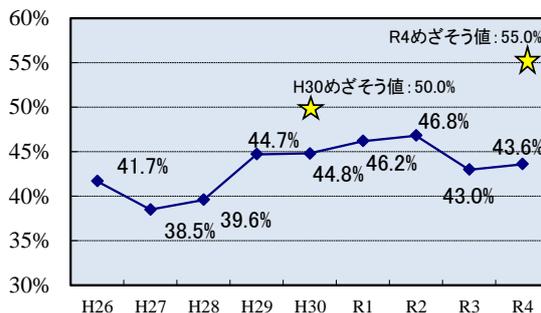
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.01ポイント増、重要度は変わりませんでした。満足度と重要度の差は1.05ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.9

滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合

指標の推移とめざそう値



●滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

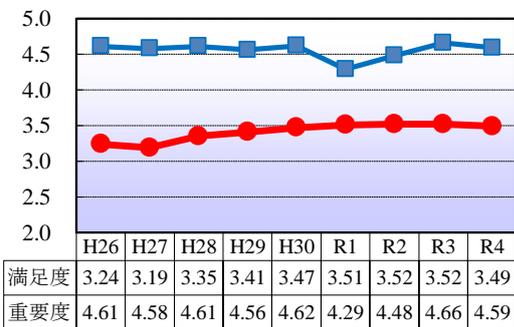
【定義】滝沢市はみんなで支え合うことで地域の課題を解決できる市だと感じている人の割合

【動き】前回と比べて、0.6ポイント増となりました。R4めざそう値とは11.4ポイントの差がありました。

最適化条件No.10

市に犯罪がない

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

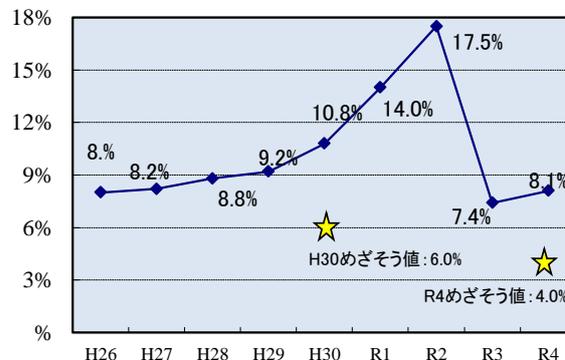
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント減、重要度は0.06ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.10ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中で、全体としては減少傾向となりました。

代表指標No.10

ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

指標の推移とめざそう値



●ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

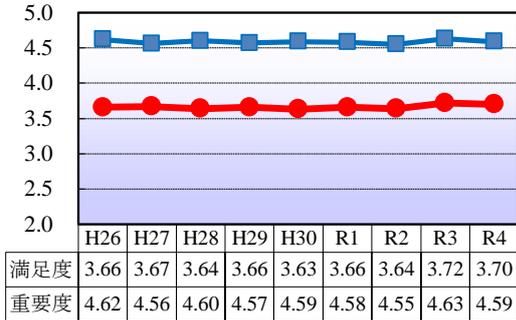
【動き】前回と比べて、0.7ポイント増となりました。R4めざそう値とは4.1ポイントの差がありました。

※減少した方が望ましい指標となります。

最適化条件No.11

心身ともに元気で暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

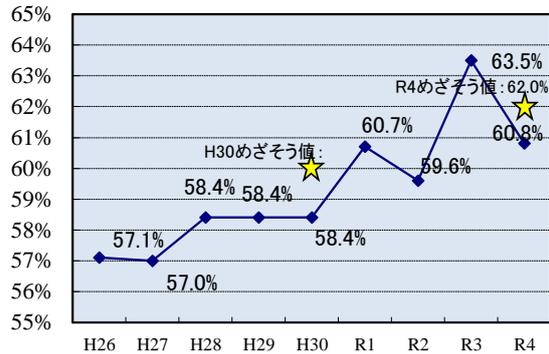
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント減、重要度は0.04ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.89ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいの状態となりました。

代表指標No.11

自分が心身ともに元気と感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 自分が心身ともに元気と感じている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

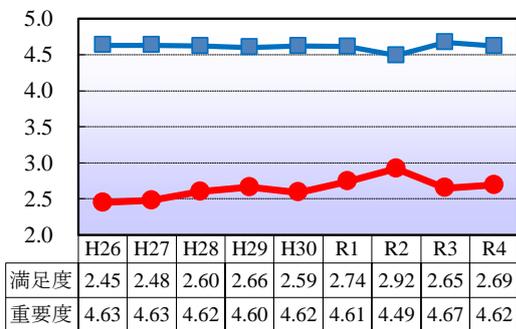
【定義】 心身ともに元気で暮らせると感じる人の割合

【動き】 前回と比べて、2.7ポイント減となりました。
R4めざそう値とは1.2ポイントの差がありました。

最適化条件No.12

老後の不安なく暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

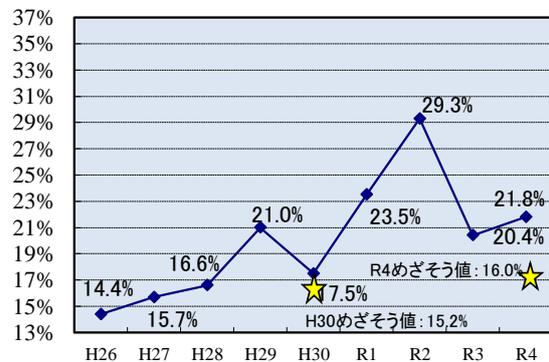
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.04ポイント増、重要度は0.05ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.93ポイントと、市民ニーズの推移としては高い水準でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.12

老後が不安なく暮らせると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

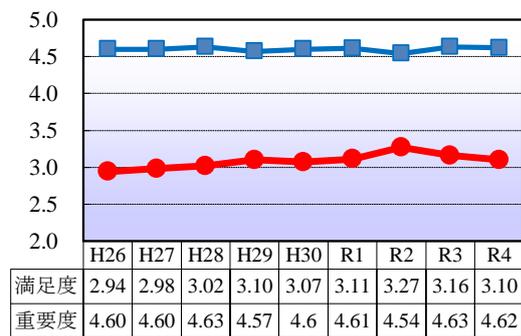
【定義】 老後が不安なく暮らせると感じる人の割合

【動き】 前回と比べて、1.4ポイント増となりました。
R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.13

子ども達が不安なく暮らせる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

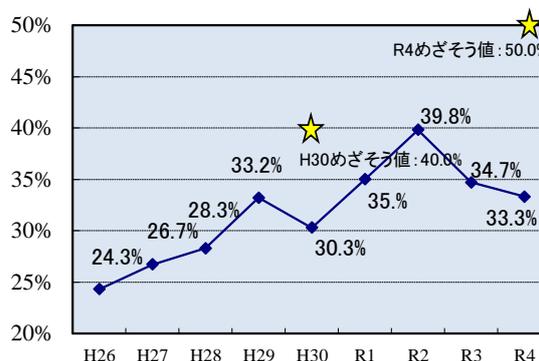
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント減、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.52ポイントと、市民ニーズの推移としては高い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.13

子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



— 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合

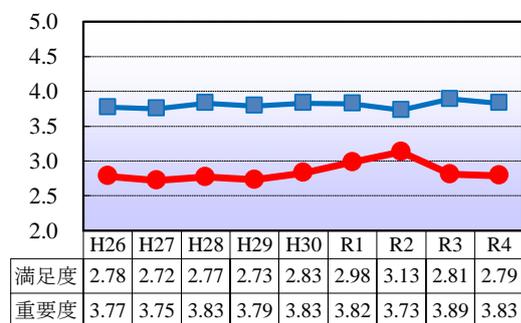
【動き】 前回と比べて、1.4ポイント減となりました。

R4めざそう値とは16.7ポイントの差がありました。

最適化条件No.14

一人ひとりの個性が尊重されている

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケートより

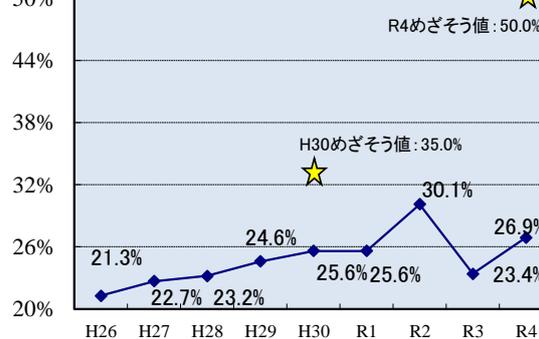
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント減、重要度は0.06ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.04ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.14

障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



— 障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 障がいのある方の社会参加は進んでいると感じる人の割合

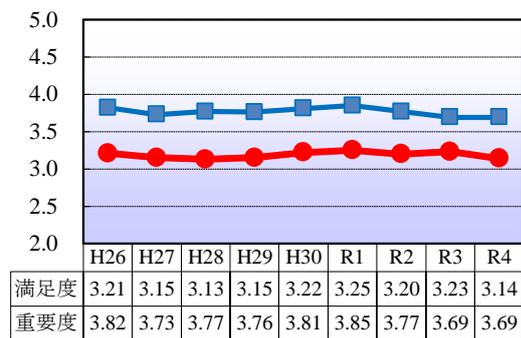
【動き】 前回と比べて、3.5ポイント増となりました。

R4めざそう値とは23.1ポイントの差がありました。

最適化条件No.15

高齢者が自ら率先して活躍している

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

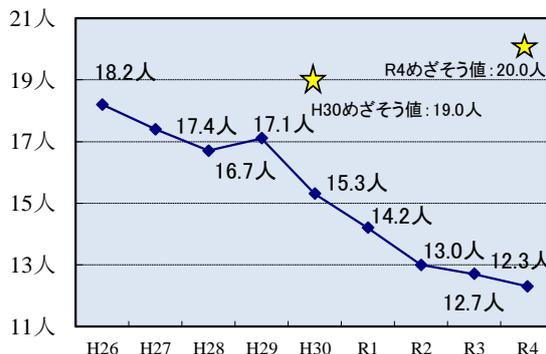
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.09ポイント減、重要度は変わりませんでした。満足度と重要度の差は0.55ポイントと、市民ニーズの推移としては低い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.15

シルバー人材センター加入人数（60歳以上人口1,000人当たり）

指標の推移とめざそう値



●シルバー人材センター加入人数(60歳以上人口1,000人当たり)

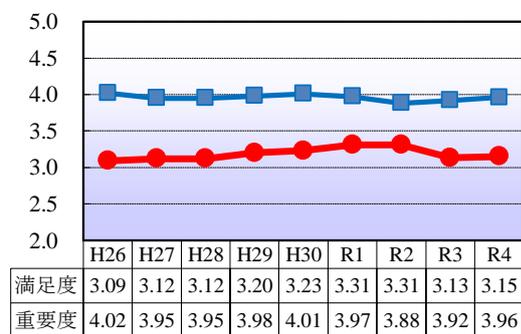
■出典：経済産業部観光物産課

【定義】 60歳以上人口1,000人当たりのシルバー人材センター加入人数
【動き】 前回と比べて、0.4人減となりました。
R4めざそう値とは7.7人の差がある状態です。

最適化条件No.16

健康や介護などを学べる「場」がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

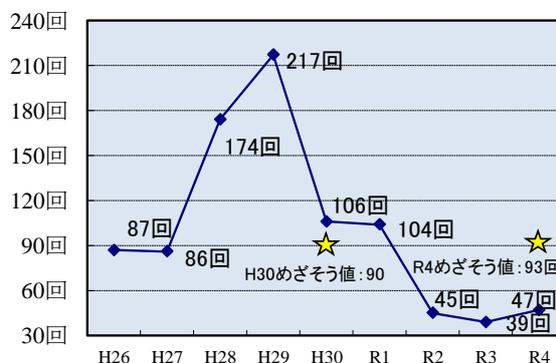
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント増、重要度は0.04ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.81ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.16

健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数

指標の推移とめざそう値



●健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数

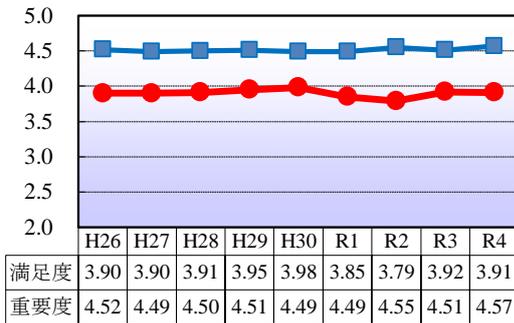
■出典：健康福祉部健康推進課

【定義】 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数
【動き】 前回と比べて8回増となりました。
R4めざそう値とは46回の差がありました。

最適化条件No.17

かかりつけの病院がある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

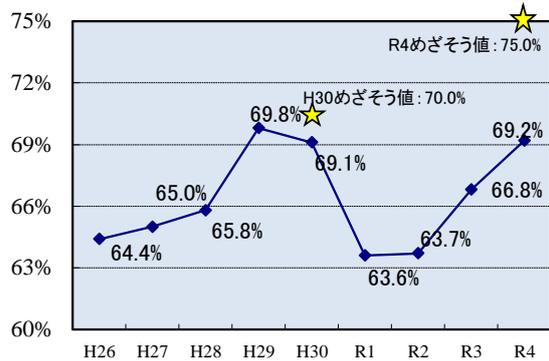
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.01ポイント減、重要度は0.06ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.66ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.17

かかりつけ医を持っている人の割合

指標の推移とめざそう値



●...かかりつけ医を持っている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

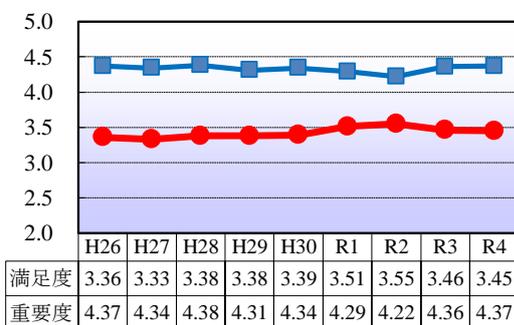
【定義】 かかりつけの病院がある人の割合

【動き】 前回と比べて、2.4ポイント減となりました。R4めざそう値とは5.8ポイントの差がありました。

最適化条件No.18

放課後の子どもの居場所がある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

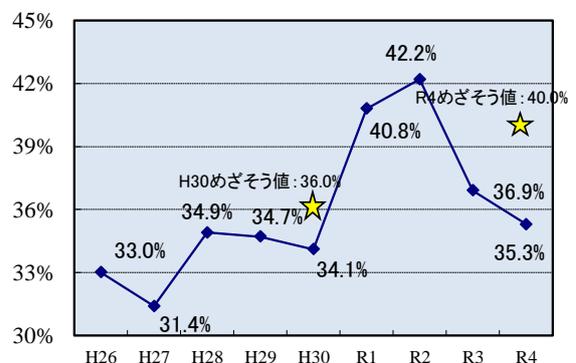
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.01ポイント減、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.92ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.18

放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



●...放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

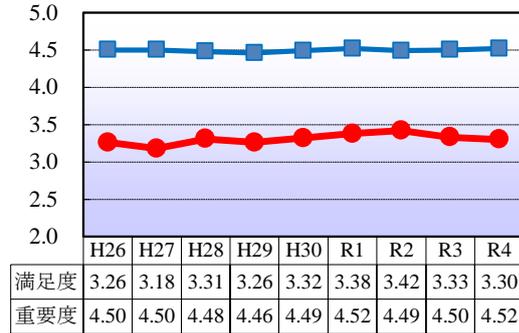
【定義】 放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

【動き】 前回と比べて、1.6ポイント減となりました。R4めざそう値とは4.7ポイントの差がありました。

最適化条件No.19

安心して子育てができる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

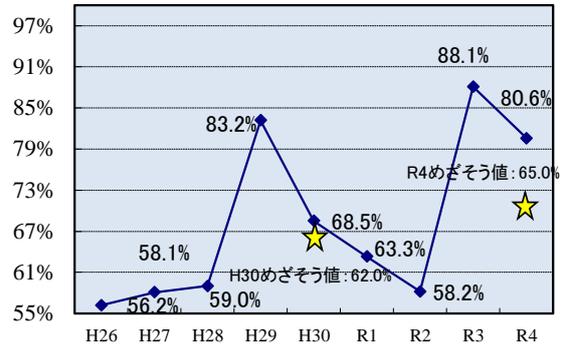
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.03ポイント減、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.22ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.19

子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合

指標の推移とめざそう値



● 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合

【動き】 前回と比べて7.5ポイントの減となりました。

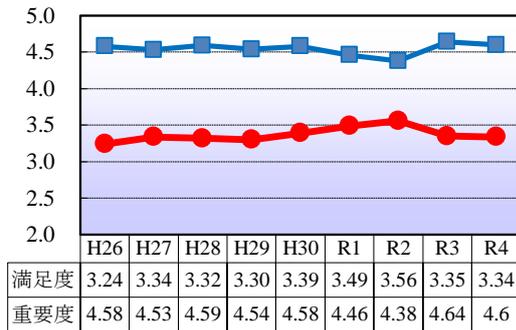
R4めざそう値を達成している状態です。

※H29年度から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

最適化条件No.20

交通安全が保たれている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

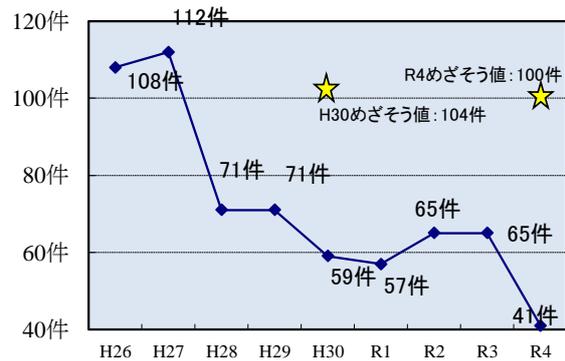
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.01ポイント減、重要度は0.04ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.26ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.20

交通事故発生件数

指標の推移とめざそう値



■出典：市民環境部防災防犯課

【定義】 市内で発生した交通事故件数

【動き】 前回と比べて24件減となりました。

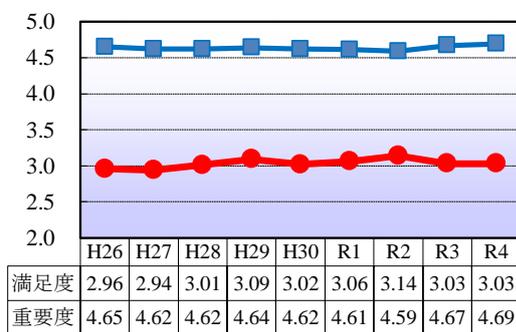
R4めざそう値は達成している状態です。

※減少した方が望ましい指標です。

最適化条件No.21

急病の時に病院に行きやすい

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

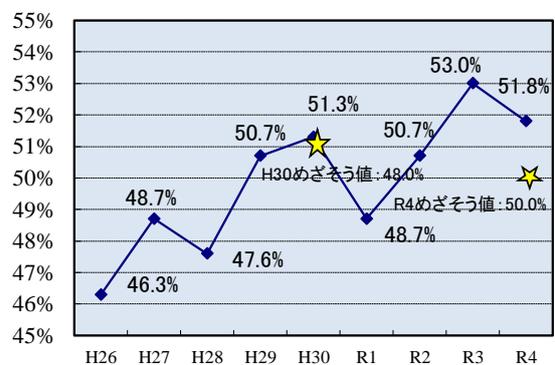
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は変わらず、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.66ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.21

地域の医療に安心感を持っている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 地域の医療に安心感を持っている人の割合

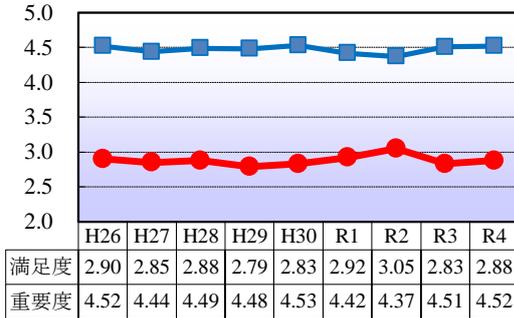
【動き】 前回と比べて、1.2ポイント減となりました。

R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.22

交通の便がよく、移動がしやすい

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

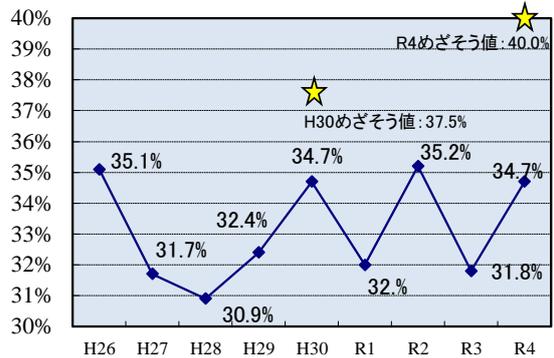
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.05ポイント増、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.64ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.22

市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合

指標の推移とめざそう値



●市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】滝沢市内のバスや電車は便利で利用しやすいと感じている人の割合

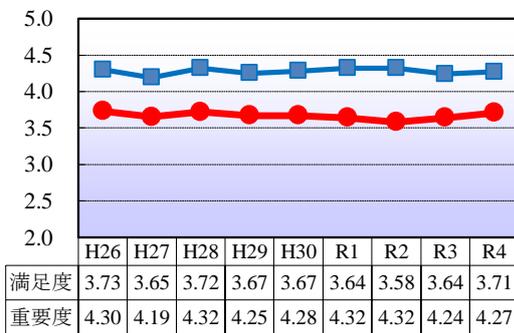
【動き】前回と比べて、2.9ポイント増となりました。

R4めざそう値とは5.3ポイントの差がありました。

最適化条件No.23

ずっと住みたいと思える市である

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.07ポイント増、重要度は0.03ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.56ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.23-1

滝沢市に愛着がある人の割合

指標の推移とめざそう値



●滝沢市に愛着がある人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】滝沢市に愛着がある人の割合

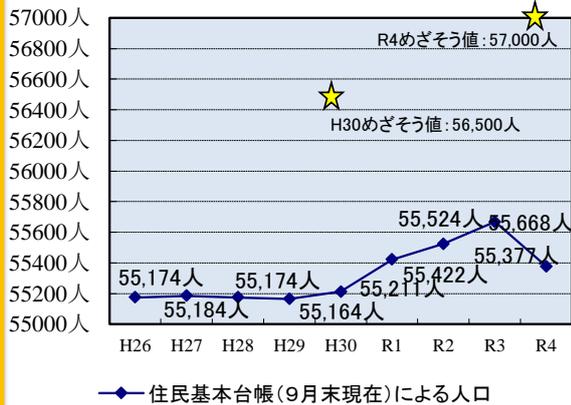
【動き】前回と比べて、4.4ポイント増となりました。

R4めざそう値とは4.4ポイントの差がありました。

○ 代表指標No.23-2

住民基本台帳（9月末現在）による人口

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：市民環境部市民課

【定義】 9月末現在の住民基本台帳人口

【動き】 前回と比べて、291人減となりました。

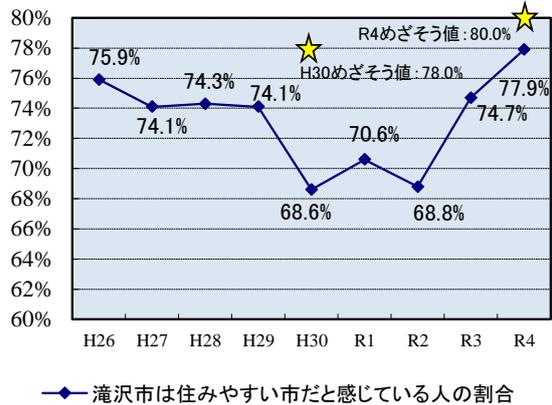
R4めざそう値とは1,623人の差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-3

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

【動き】 前回と比べて、3.2ポイント増となりました。

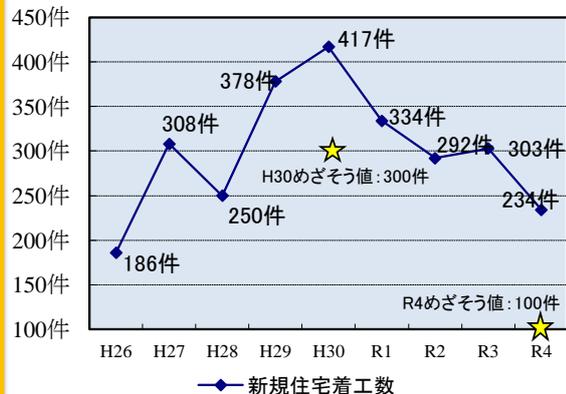
R4めざそう値とは2.1ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-4

新規住宅着工数

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：都市整備部都市政策課

【定義】 市内新規住宅着工数

【動き】 前回と比べて、69件減となりました。

R4めざそう値は達成している状態です。

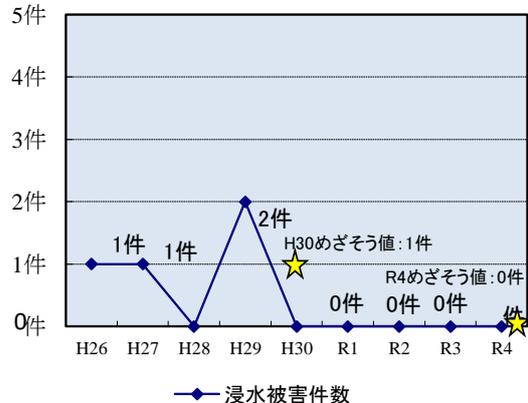
【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

また、R4めざそう値については、新規着工数のみを対象としている点を鑑み、H30めざそう値よりも低い値としています。

○ 代表指標No.23-5

浸水被害件数

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：都市整備部河川課

【定義】 市内浸水被害件数

【動き】 前回と変わらず0件となりました。

R4めざそう値は達成している状態です。

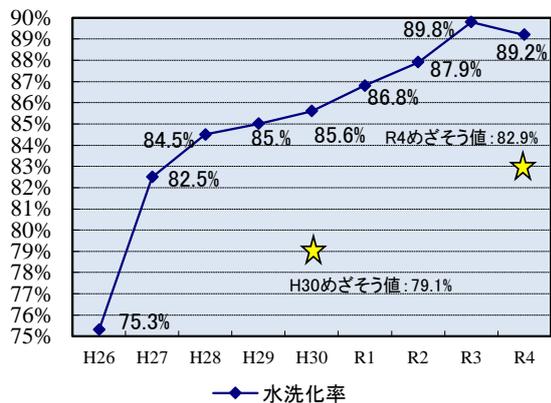
【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

※減少した方が望ましい指標です。

○ 代表指標No.23-6

水洗化率

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：上下水道部下水道課

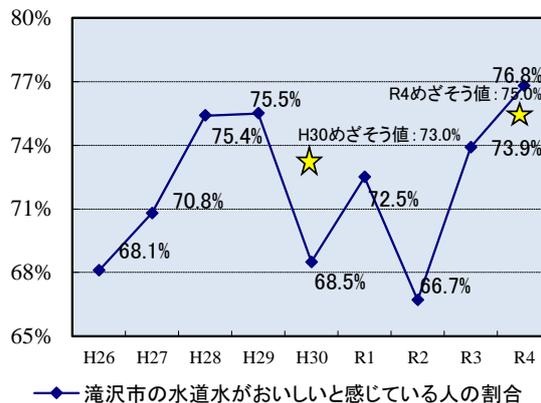
【定義】 水洗化率（行政区域内人口に対する合併処理浄化槽含）
 【動き】 前年度と比べて、0.6ポイント減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-7

滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合
 【動き】 前回と比べて、2.9ポイント増となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-8

経営資本営業利益率（上水道・下水道）

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：上下水道部水道総務課、上下水道部下水道課

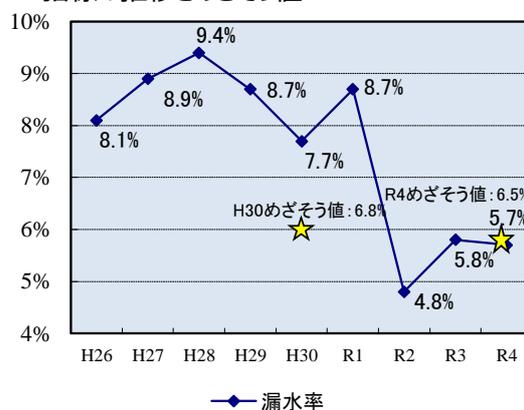
【定義】 上水道・下水道における経営資本営業利益率
 【動き】 前回と比べて、上水道は0.38ポイント減、下水道は0.02ポイント増となりました。
 R4めざそう値については、上水道と下水道ともに達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.23-9

漏水率

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：上下水道部水道整備課

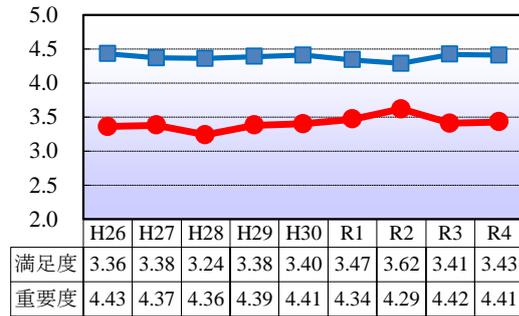
【定義】 市内上水道給水区域における漏水率
 【動き】 前回と比べて、0.1ポイント減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

最適化条件No.24

市役所の仕事は信頼できる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

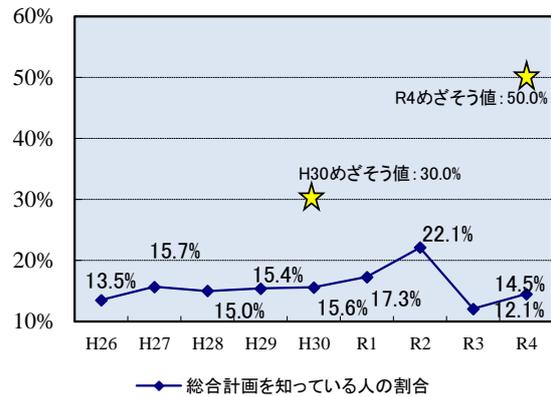
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント増、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.98ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.24-1

総合計画を知っている人の割合

指標の推移とめざそう値



■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

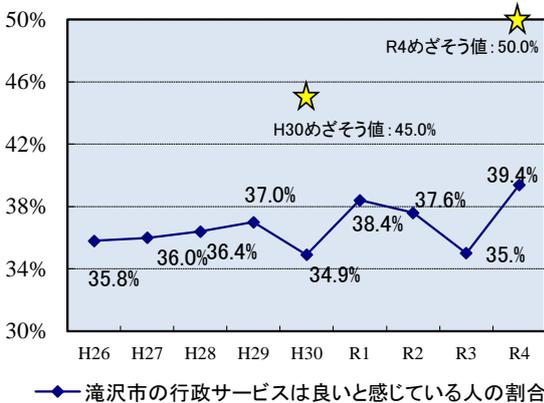
【定義】 滝沢市の総合計画を知っている人の割合

【動き】 前回と比べて、2.4ポイントの増となりました。R4めざそう値とは35.5ポイントの大きな差がある状態です。

代表指標No.24-2

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

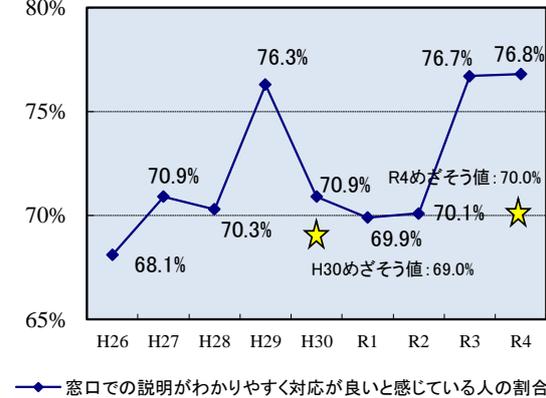
【動き】 前回と比べて、4.4ポイント増となりました。R4めざそう値とは10.6ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-3

窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 市役所窓口での説明が分かりやすく対応が良いと感じている人の割合

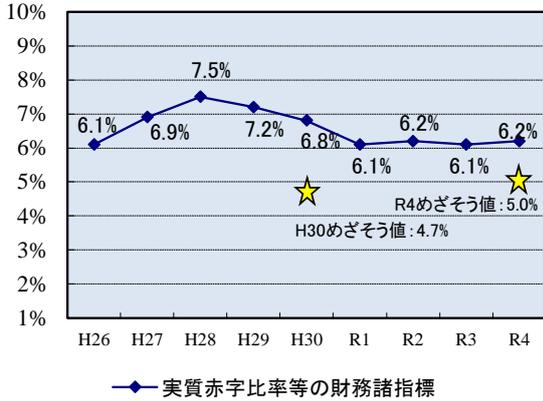
【動き】 前回と比べて、0.1ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-4

実質赤字比率等の財務諸指標

■ 指標の推移とめざそう値



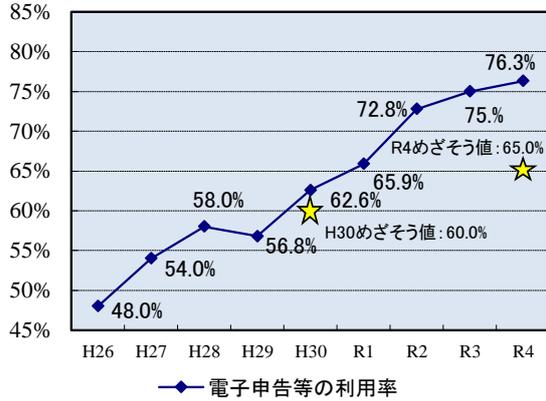
【定義】 実質公債費比率
 【動き】 前回と比べて、0.1ポイント減となりました。
 R4めざそう値とは1.1ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

○ 代表指標No.24-5

電子申告等の利用率

■ 指標の推移とめざそう値



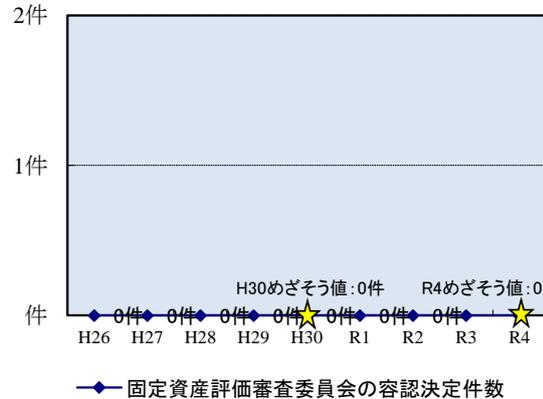
【定義】 法人・給報等総数に対するeLTAX使用の割合
 【動き】 前回と比べて、1.3ポイント増となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-6

固定資産評価審査委員会の容認決定件数

■ 指標の推移とめざそう値



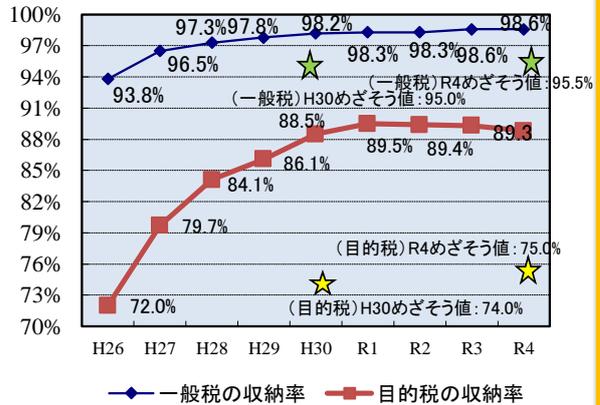
【定義】 固定資産評価審査委員会の容認決定件数
 【動き】 前回と変わらず0件となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-7

一般税・目的税の収納率

■ 指標の推移とめざそう値



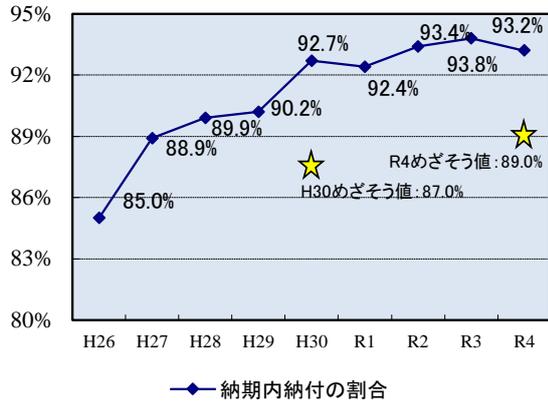
【定義】 一般税・目的税の収納率
 【動き】 一般税は前回と変わらず、目的税は前回と比べて0.5ポイント減となりました。
 R4めざそう値はいずれも達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-8

納期内納付の割合

■ 指標の推移とめざそう値



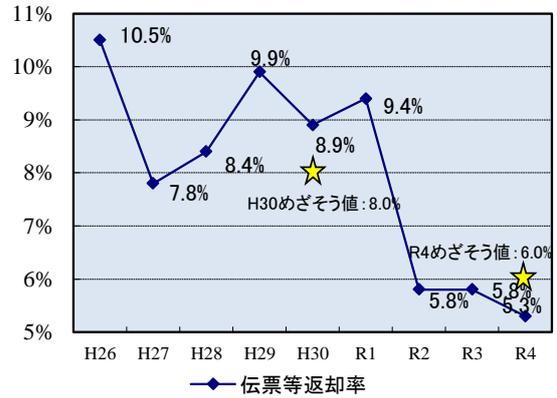
【定義】 税込総額のうち、納期限内に収められた金額の割合
 【動き】 前回と比べて、0.6ポイント減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-9

伝票等返却率

■ 指標の推移とめざそう値



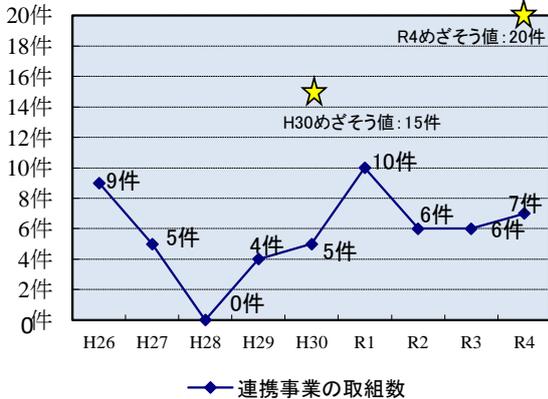
【定義】 審査件数に対する返却件数の割合
 【動き】 前回と比べて、0.5ポイント減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

○ 代表指標No.24-10

連携事業の取組数

■ 指標の推移とめざそう値



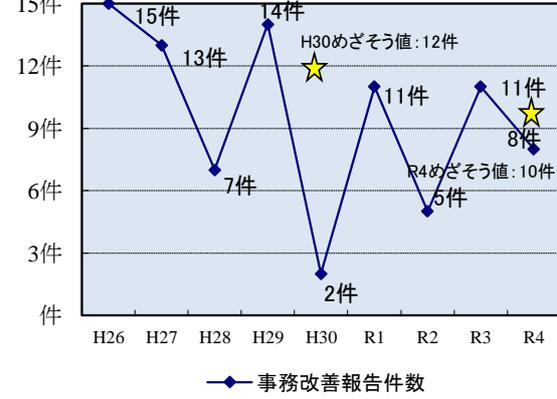
【定義】 連携事業件数
 【動き】 前回と比べて、1件増となりました。
 R4めざそう値とは13件の大きな差があります。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-11

事務改善報告件数

■ 指標の推移とめざそう値



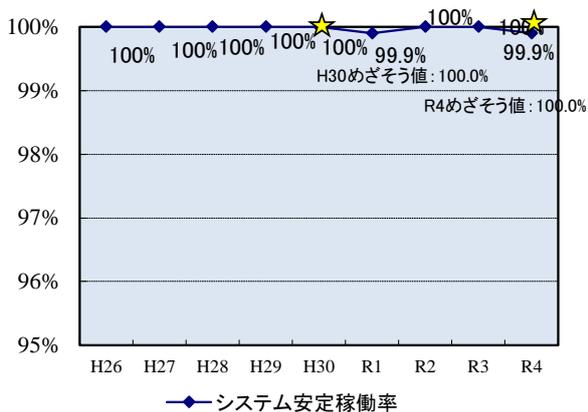
【定義】 事務改善報告件数
 【動き】 前回と比べて、3件減となりました。
 R4めざそう値とは達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標となります。

○ 代表指標No.24-12

システム安定稼働率

■ 指標の推移とめざそう値



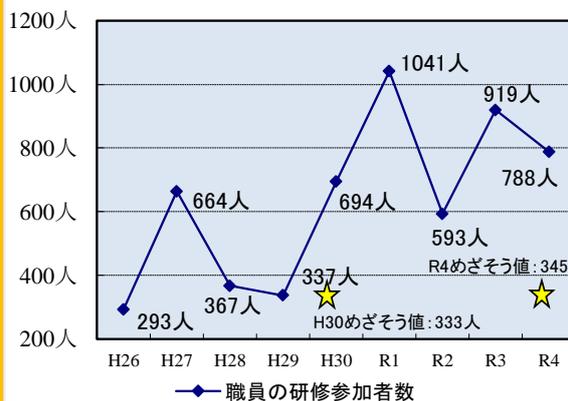
【定義】 住民情報システムの安定稼働率（稼働実績 / 稼働予定時間）
 【動き】 前回と比べて、0.01ポイント減となりました。
 R4めざそう値とは0.01ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-13

職員の研修参加者数

■ 指標の推移とめざそう値



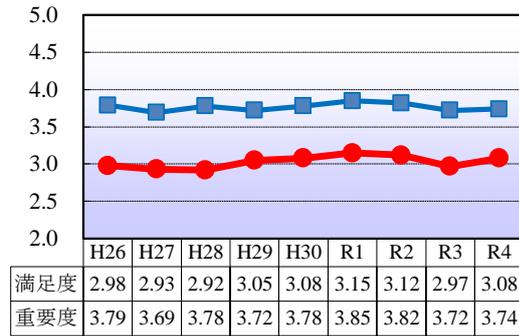
【定義】 庁内研修への参加職員数
 【動き】 前回と比べて、131人減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

最適化条件No.25

自ら学んだり、取り組める環境がある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

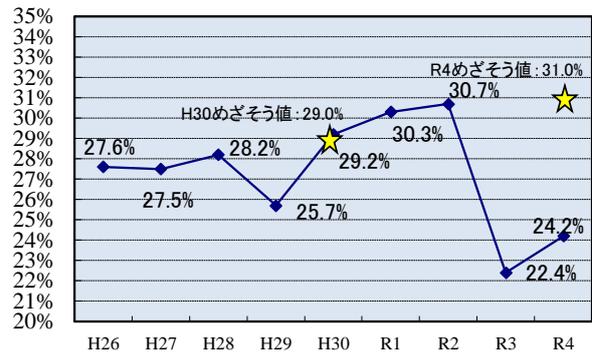
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.11ポイント増、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.66ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.25-1

趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

指標の推移とめざそう値



● 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

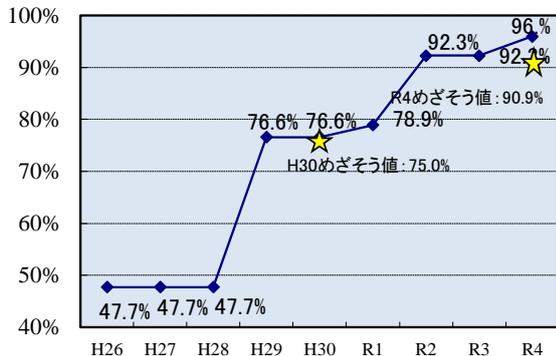
【定義】 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

【動き】 前回と比べて、1.8ポイント増となりました。
R4めざそう値とは6.8ポイントの差がありました。

代表指標No.25-2

学校トイレの環境改善率

指標の推移とめざそう値



● 学校トイレの環境改善率

■ 出典：教育委員会事務局教育総務課

【定義】 市内小中学校におけるトイレの洋式化率

【動き】 前回と比べて、0.37ポイント増となりました。
R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.25に関連する代表指標です。

代表指標No.25-3

屋内体育施設の利用者数

指標の推移とめざそう値



● 屋内体育施設の利用者数

■ 出典：教育委員会事務局スポーツ推進課

【定義】 市内屋内体育施設の月平均利用者数

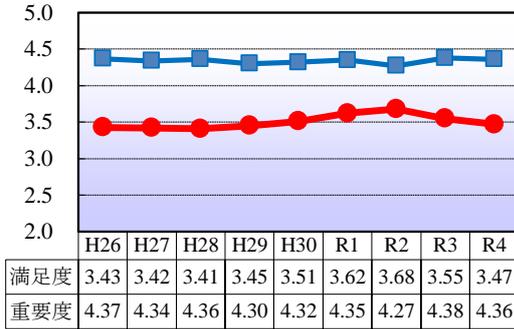
【動き】 前回と比べて、1,460人増となりました。
R4めざそう値とは4,863人の大きな差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.25に関連する代表指標です。

最適化条件No.26

子ども達が生き生きとしている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

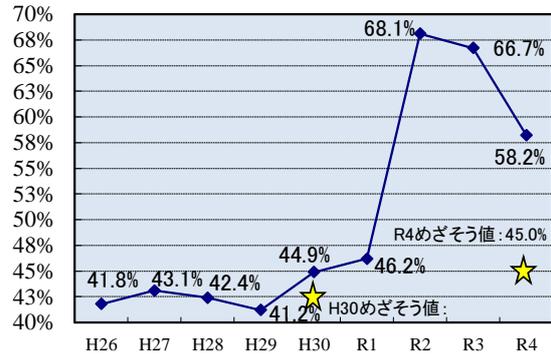
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.08ポイント減、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.89ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.26

1年間無欠席の児童生徒の割合

指標の推移とめざそう値



● 1年間無欠席の児童生徒の割合

■出典：教育委員会事務局学校教育指導課

【定義】 無欠席であった市内小中学校児童生徒の割合

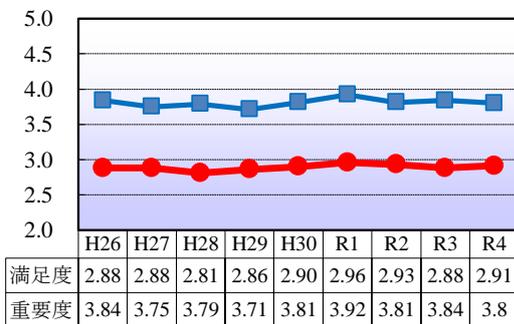
【動き】 前回と比べて、8.5ポイント減となりました。

R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.27

自分の夢の実現のために取り組むことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント増、重要度は0.04ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.89ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.27

夢に向かって努力している人の割合

指標の推移とめざそう値



● 夢に向かって努力している人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 夢に向かって努力している人の割合

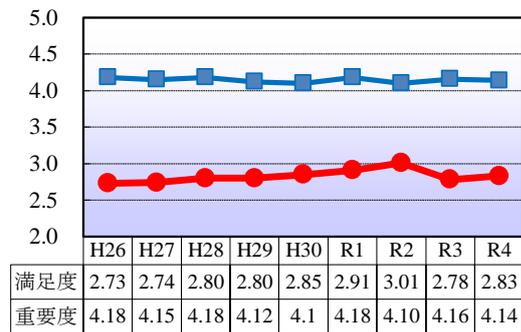
【動き】 前回と比べて、2.1ポイント減となりました。

R4めざそう値とは20.3ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.28

子どもたちの体力・学力が向上する

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

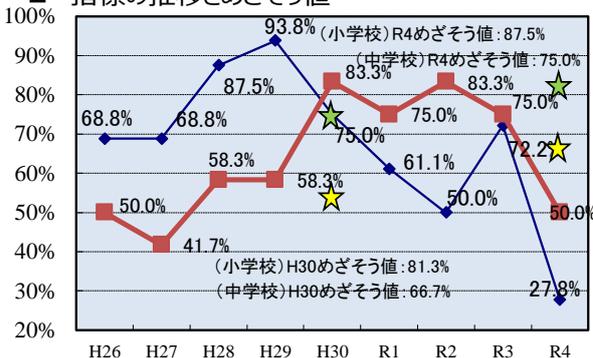
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.31ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.28

学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校・中学校）

指標の推移とめざそう値



◆学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校）
■学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（中学校）

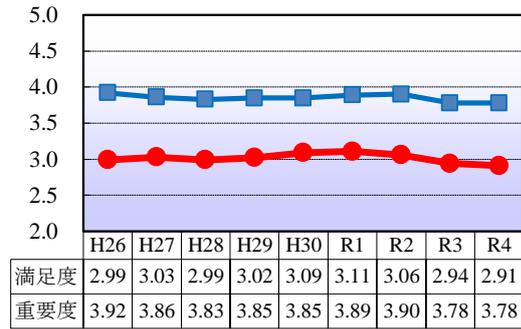
■出典：教育委員会事務局学校教育指導課

【定義】学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合
【動き】前回と比べて、小学校は44.4ポイント減、中学校は25ポイント減となりました。
R4めざそう値については、小学校で59.7ポイント、中学校で25ポイントの差がありました。

最適化条件No.29

地域と学校の間で交流がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

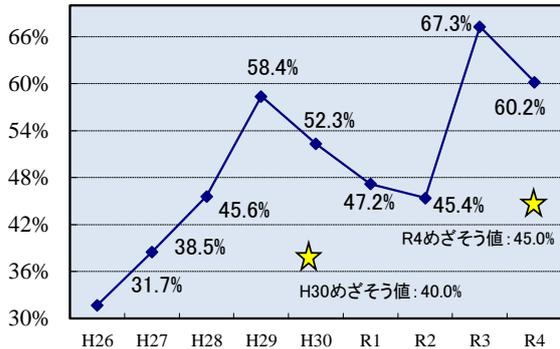
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント減、重要度は変わりませんでした。満足度と重要度の差は0.87ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.29-1

子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

【動き】前回と比べて、7.1ポイント減となりました。

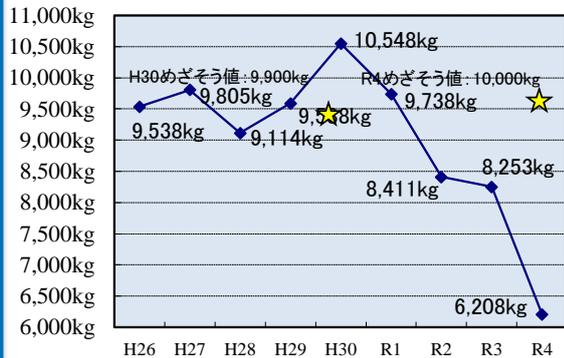
R4めざそう値は達成している状態です。

※H29から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

代表指標No.29-2

学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

指標の推移とめざそう値



◆学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

■出典：教育委員会事務局学校給食センター調査

【定義】学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

【動き】前回と比べて、2,045kgの大きな減となりました。

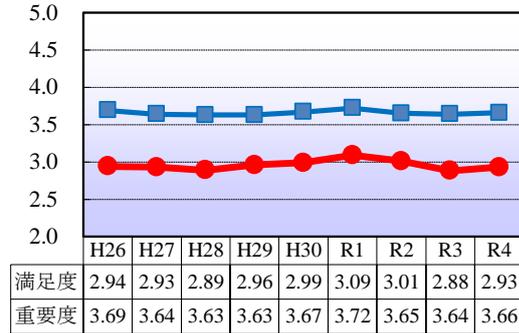
R4めざそう値とは3,792kgの差がある状態です。

【備考】最適化条件No.29に関連する代表指標です。

最適化条件No.30

スポーツに親しむ機会がある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

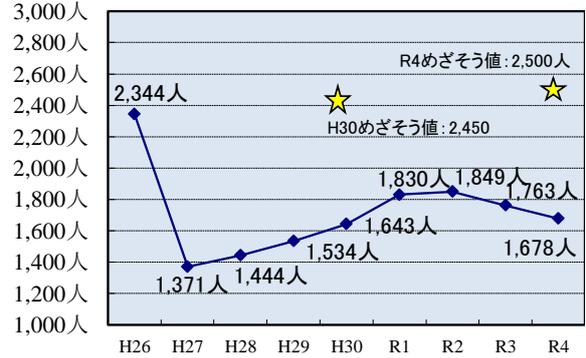
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.76ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.30

種目別協会の登録者数及び会員数

指標の推移とめざそう値



◆種目別協会の登録者数及び会員数

■出典：教育委員会事務局生涯学習スポーツ課

【定義】種目別協会の登録者数及び会員数

【動き】前回と比べて、85人減となりました。

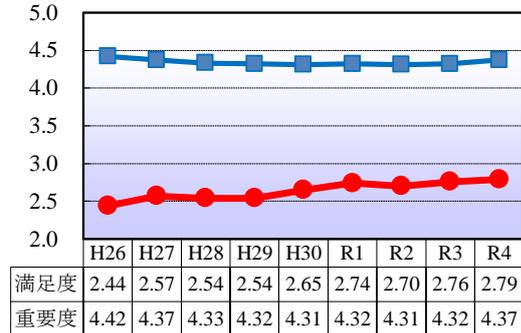
R4めざそう値とは822人の差がありました。

※H26までは登録者数と会員数を合わせた数としていましたが、H27からは会員数のみとしています。

最適化条件No.31

働く場がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント増、重要度は0.05ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.58ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中で減少傾向となりました。

代表指標No.31

法人事業所数

指標の推移とめざそう値



■出典：経済産業部企業振興課

【定義】 市内法人事業所数

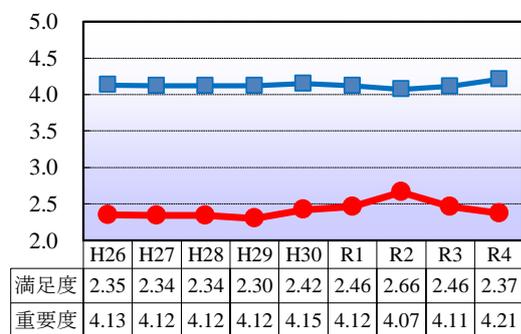
【動き】 前回と比べて、10所増となりました。

R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.32

農業の担い手がいる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

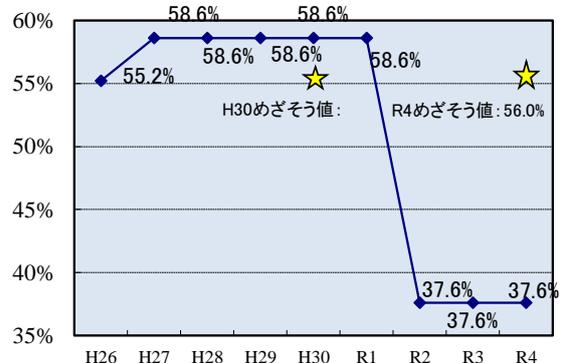
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.09ポイント減、重要度は0.1ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.65ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.32

農業後継者（販売農家）の有無の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：農林業センサス

【定義】 農家（販売農家）のうち、後継者がいる農家の割合

【動き】 前回と変わらず37.6%となりました。

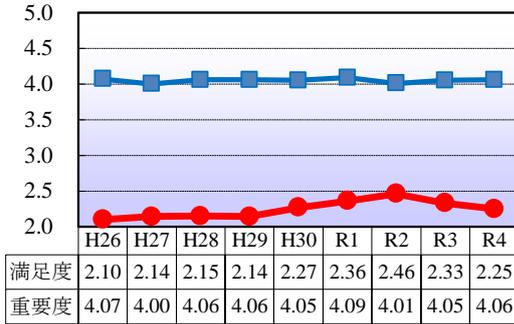
R4めざそう値とは18.4ポイントの差がありました。

※R2から、参照する農林業センサスにおける項目が異なっています。

最適化条件No.33

みんなが自分のやりたい仕事ができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

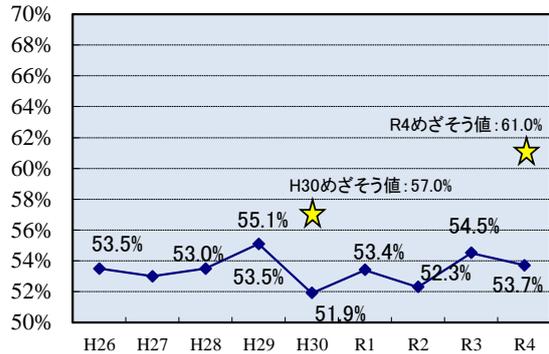
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.08ポイント減、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.81ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.33

現在の仕事に満足している人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 現在の仕事に満足している人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

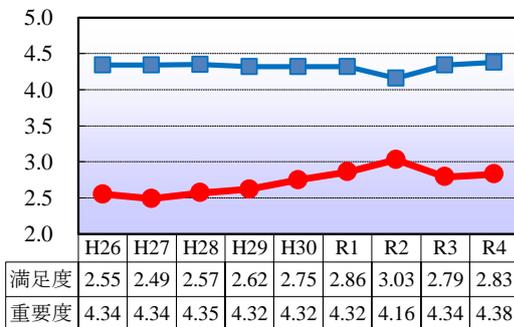
【定義】 現在の仕事に満足している人の割合

【動き】 前回と比べて、0.8ポイント減となりました。
R4めざそう値とは7.3ポイントの差がありました。

最適化条件No.34

子育てしながらでも安心して働くことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

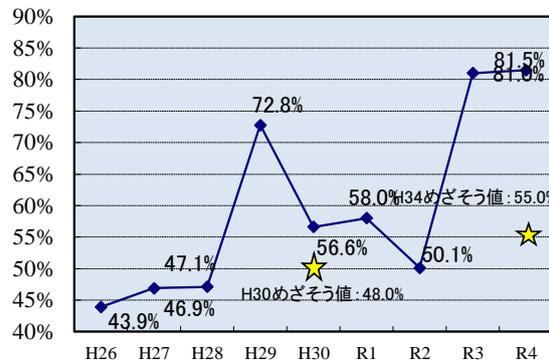
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.04ポイント増、重要度は0.04ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.55ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.34

子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 子育てに対して勤務先の理解があると感じる人の割合

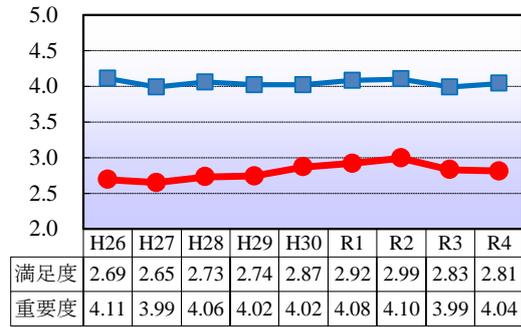
【動き】 前回と比べて、0.5ポイント増となりました。
R4めざそう値は達成している状態です。

※H29から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

最適化条件No.35

市の特色を活かした産業がある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

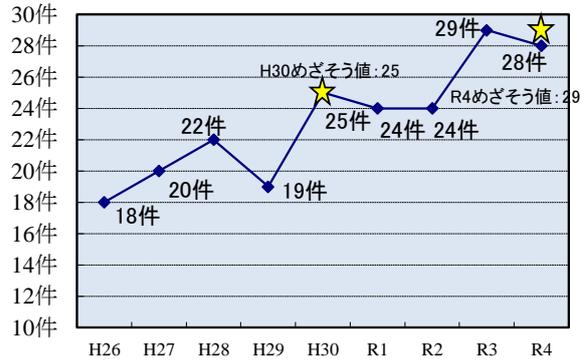
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント減、重要度は0.05ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.23ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.35-1

I P Uイノベーションセンター・パークへの立地件数

指標の推移とめざそう値



◆ IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数

■ 出典：経済産業部企業振興課

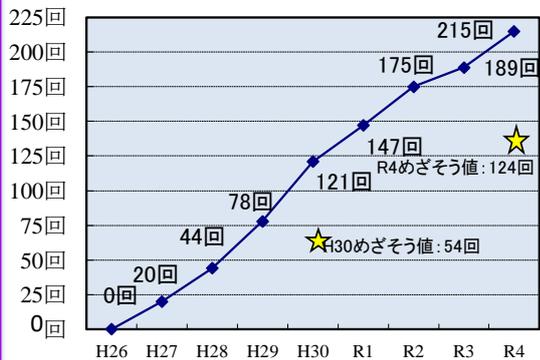
【定義】イノベーションセンター・パークへの入居企業総数

【動き】前回と比べて、1件減となりました。
R4めざそう値とは1件の差がありました。

代表指標No.35-2

セミナー、フォーラム等の交流事業の回数

指標の推移とめざそう値



◆ セミナー、フォーラム等の交流事業の回数(積み上げ)

■ 出典：経済産業部企業振興課

【定義】地域人材育成を目的としたセミナー、フォーラム等交流事業数

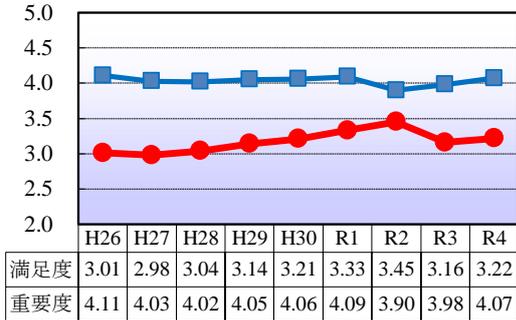
【動き】前回と比べて、26回増となりました。
R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】最適化条件No.35に関連する代表指標です。
この指標は、積み上げの回数を表しています。

最適化条件No.36

地場産品が広く販売されている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

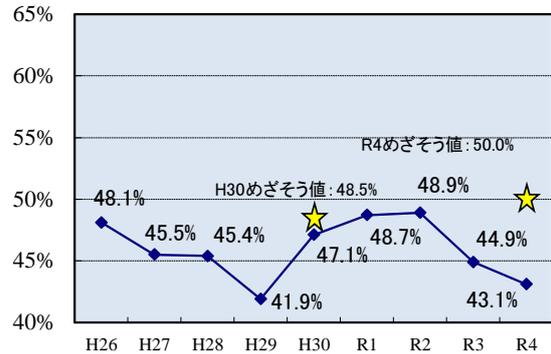
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント増、重要度は0.09ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.85ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.36

滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



● 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

【定義】 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

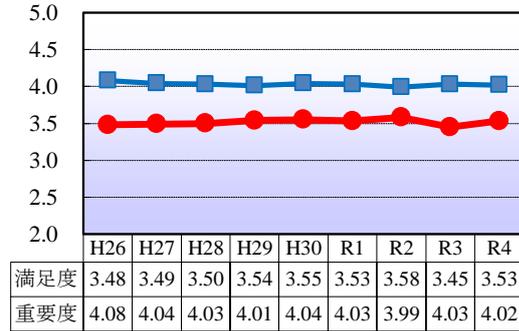
【動き】 前回と比べて、1.8ポイント減となりました。

R4めざそう値とは6.9ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.37

文化・伝統が受け継がれている

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

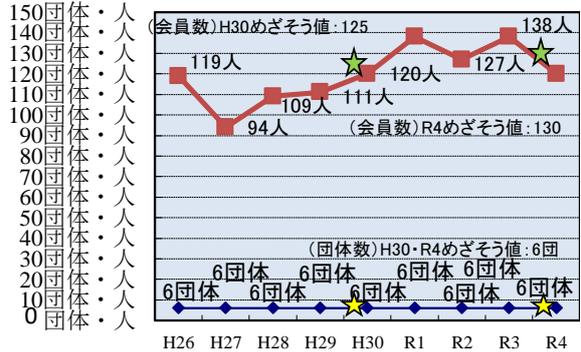
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.08ポイント増、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.49ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.37

郷土芸能団体数及び会員数

指標の推移とめざそう値



◆郷土芸能団体数 ■郷土芸能団体会員数

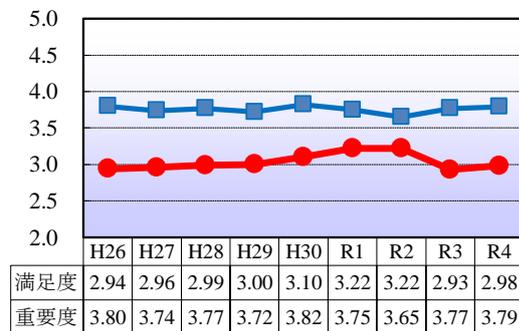
■出典：教育委員会事務局文化振興課

【定義】 郷土芸能の継承を目的とする団体数と、団体の会員のうち青少年の人数
【動き】 前回と比べて、団体数は変わらず6団体、会員数は18人減となりました。
R4めざそう値については、団体数は達成しましたが、会員数は10人の差がありました。

最適化条件No.38

文化・伝統や芸術に親しむ機会がある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

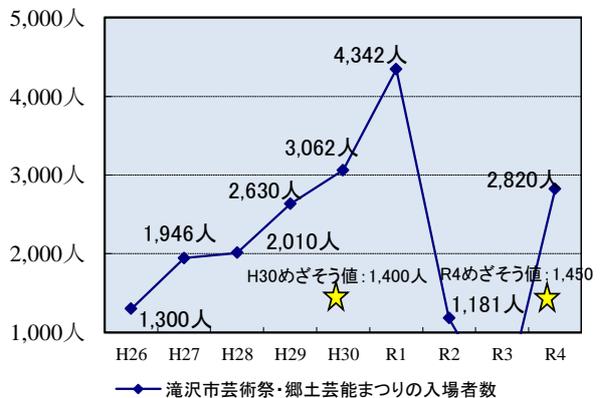
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.81ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.38

滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数

指標の推移とめざそう値



◆滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数

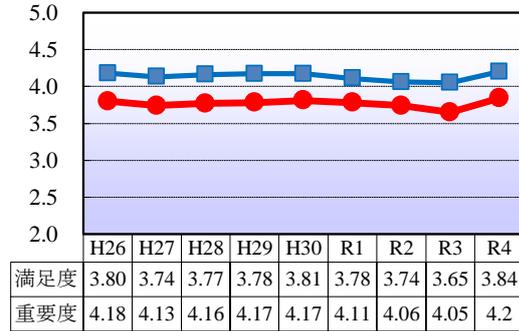
■出典：教育委員会事務局文化振興課

【定義】 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数
【動き】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントが中止となったことから、令和3年度においては指標の把握を中止しました。
令和4年度は2,820人となり、R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.39

チャグチャグ馬コの知名度が活かされている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

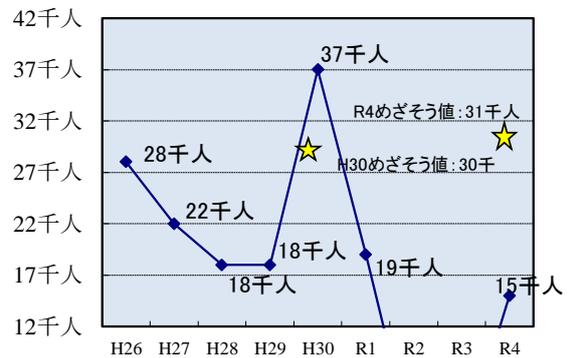
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.19ポイント増、重要度は0.15ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.36ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.39

チャグチャグ馬コの入込客数

■ 指標の推移とめざそう値



◆ チャグチャグ馬コの入込客数

■ 出典：経済産業部観光物産課

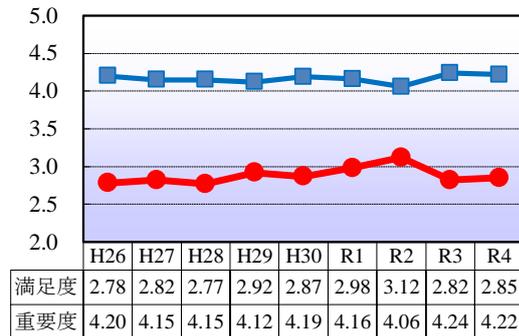
【定義】 チャグチャグ馬コにおける入込客人数

【動き】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対象イベントが中止となったことから、令和2年度及び令和3年度においては指標の把握を中止しました。令和4年度は15千人となり、R4めざそう値は16千人の差がありました。

最適化条件No.40

必要な情報が分かりやすく伝わる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

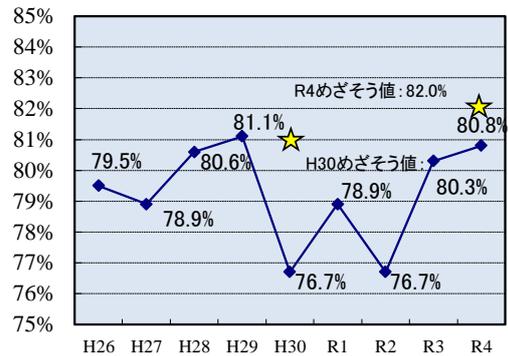
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.37と、市民ニーズの推移としては、比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.40

広報たきざわを読んでいる人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 広報たきざわを読んでいる人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

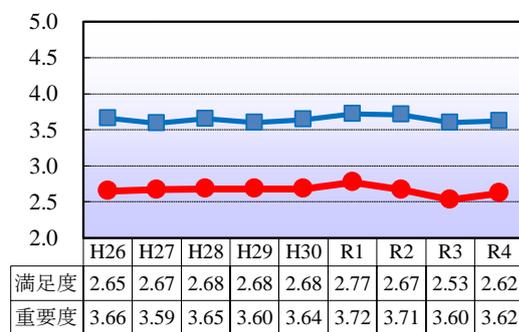
【定義】 広報たきざわを読んでいる人の割合

【動き】 前回と比べて、0.5ポイント増となりました。R4めざそう値とは1.2ポイントの差がありました。

最適化条件No.41

同じ目的を持った人との交流がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

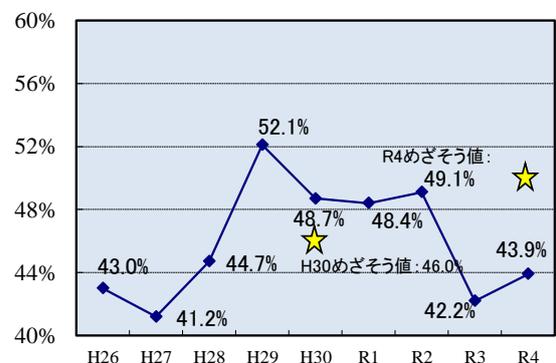
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.09ポイント増、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.00ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.41

人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

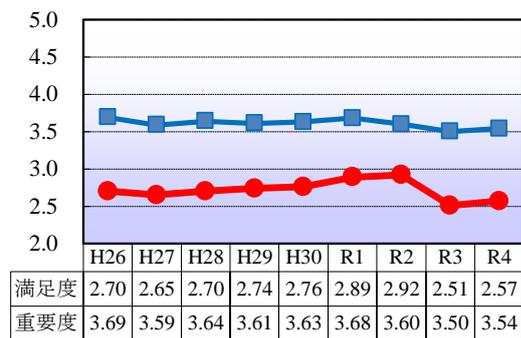
【定義】 人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

【動き】 前回と比べて、1.7ポイント増となりました。R4めざそう値とは6.1ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.42

地域間での交流がある

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント増、重要度は0.04ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.97ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.42

ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

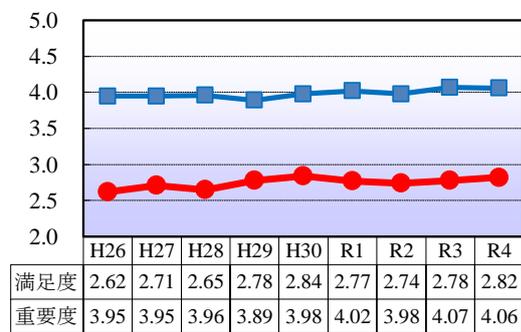
【定義】ここ1年で滝沢市内の自分が住んでいる地域以外の行事に参加した人の割合

【動き】前回と比べて、4.0ポイント増となりました。R4めざそう値とは15.4ポイントの差がありました。

最適化条件No.43

必要な時に欲しい情報が得られる

重要度・満足度の推移



●...満足度、■...重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

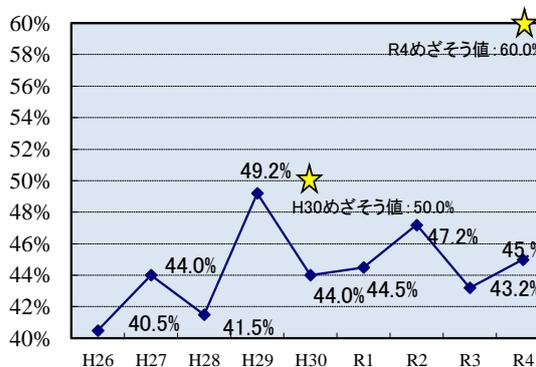
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.04ポイント増、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.24ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなりました。

代表指標No.43

普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

■出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

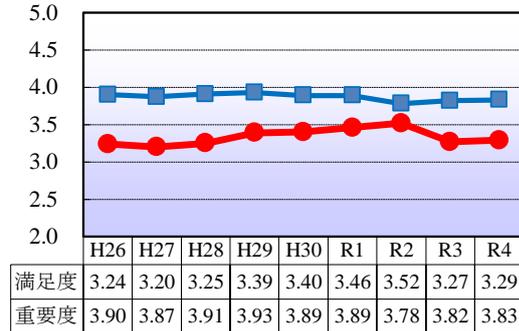
【定義】普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

【動き】前回と比べて、1.8ポイント増となりました。R4めざそう値とは15ポイントの差がありました。

最適化条件No.44

人々が集まり活動できる場所がある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

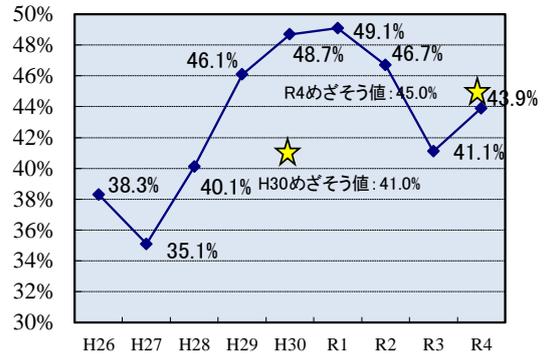
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント増、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.54ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.44

人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



● 人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

■ 出典：令和4年度滝沢地域社会に関するアンケート調査

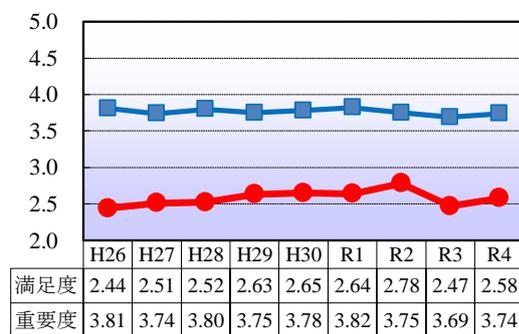
【定義】 人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

【動き】 前回と比べて、2.8ポイント増となりました。R4めざそう値とは1.1ポイントの差がありました。

最適化条件No.45

地域や世代を超えて市全体がつながっている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
滝沢地域社会に関するアンケート調査より

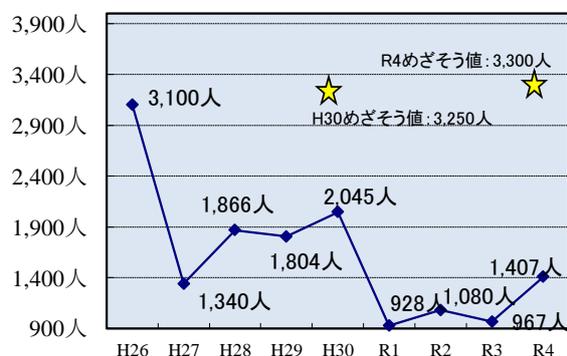
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.11ポイント増、重要度は0.05ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.16ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向となりました。

代表指標No.45

市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

指標の推移とめざそう値



● 市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

■ 出典：教育委員会生涯学習スポーツ課

【定義】 平成27年度における市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

【動き】 前回と比べて、440人増となりました。R4めざそう値とは1,893人の大きな差がありました。

※H26はスポーツフェスティバル後のオープニングアトラクション参加者数も加算していましたが、H27から変更しています。

(4) 主要統計データの推移

主要統計データは、市民主体の地域づくりに関係する、国や県などが行う統計調査の結果を一覧にまとめたものです。

なお、第1次滝沢市総合計画終了時のデータは令和5年8月末時点で把握できる最新のものに掲載しておりますが、一部の項目は調査の終了等に伴い未掲載としております。

※表3 主要統計データ推移

No.	まちづくり の視点	指標	第1次滝沢市総合計画		データの 年度
			開始時	終了時	
1	活かす	森林面積	7,555ha	6,821ha	R2
2		岩手山登山者数（滝沢市登山口分）	11,543人	7,474人	R4
3		グリーン・ツーリズム関連施設利用状況	1,694人	42人	R4
4	支えあう	ごみ排出量（1人1日当たり）	931g	871g	R3
5		リサイクル率	26.40%	22.10%	R3
6		交通事故発生件数	108件	62件	R1
7		交通事故死傷者数	137人	78人	R1
8		刑法犯認知件数	175件	54件	R4年
9		火災出火件数（人口1万人当たり）	1.65件	1.08件	R3年
10		単身世帯比率	24.77%	28.13%	R2
11		1人暮らしの高齢者世帯比率	4.87%	8.40%	R2
12		3世代世帯割合	7.87%	2.73%	R2
13		人口自然増加数、社会増加数	145人（自然） 202人（社会）	△80人（自然） 197人（社会）	R2
14		婚姻率・離婚率（人口千人当たり）	5.0%（婚姻率） 1.72%（離婚率）	3.78%（婚姻率） 1.62%（離婚率）	R3
15		自主防災組織の活動参加者数	2,625人	482人	R4
16		自主防災組織率	96.70%	100.00%	R4
17		消防団員充足率	84.05%	71.66%	R4
18		転入・転出人口比率 （転入・転出者数/3月末人口）	転入 5.87% 転出 5.23%	転入 3.78% 転出 4.21%	R4
19		自治会加入率	81.15%	79.67%	R4
20		NPO団体数	12団体	15団体	R4
21		スクールガード登録者数	354人	261人	R4
22	輝く	出生数、出生率（人口千人当たり）	518人/9.5%	385人/6.9%	R3
23		死亡数、死亡率（人口千人当たり）	373人/6.8%	484人/8.7%	R3
24		乳児死亡率	1.90%	-	R3
25		高齢化率	16.97%	25.6%	R2
26		老年化指数 （65歳以上人口÷年少人口×100）	113.38%	186.03%	R2

27		老年人口指数 (65歳以上人口÷生産年齢人口×100)	24.90%	42.31%	R2
28		平均寿命	男性 79.6歳 女性 86.7歳	男性 81.5歳 女性 87.6歳	R2年
29		自殺者数、自殺率(10万人当たり)	11人、20.1%	5人、9.0%	R3
30		悪性新生物死亡者数	102人	147人	R3
31		脳血管疾患死亡者数	57人	60人	R3
32		病院・一般診療所数	病院 2施設 診療所 27施設	病院 2施設 診療所 23施設	R3年
33		病院・一般診療所医師数	人口10万人 当たり 31人	人口10万人 当たり 34人	H30
34		病院・一般診療所病床数	病院 329床 診療所 36床	病院 230床 診療所 10床	R3年
35		ファミリーサポートセンター登録者数	547人	578人	R4
36		ファミリーサポートセンター利用者数	1,057人	148人	R4
37		保育所入所定員数	1,218人	1,566人	R4
38		保育所・子ども園入所待機児童数	8人	16人	R4
39		放課後児童クラブ数	16クラブ	21クラブ	R4
40		介護老人福祉施設・ 介護老人保健施設定員数	介護老人福祉 施設 123人 介護老人保健 施設 196人	介護老人福祉 施設 195人 介護老人保健 施設 295人	R4
41		介護老人福祉施設数	2施設	3施設	R4
42		身体障害者更生援護施設数	0施設	0施設	R4
43		胃腸病検診受診率	32.30%	26.50%	R4
44		大腸がん検診受診率	32.60%	31.80%	R4
45		肺がん検診受診率	34.80%	35.20%	R4
46		老人福祉費(人口1万人当たり)	9,499円	13,255円	R4
47		要介護者認定率	16.79%	15.34%	R4
48		国民健康保険医療費(1人当たり)	329,324円	403,549円	R3
49		後期高齢者医療費(1人当たり)	861,507円	831,561円	R3
50		特定健康診査受診率(国保)	43.30%	46.50%	R3
51		健康教室延べ人数	1,786人	2,190人	R3
52		健康相談延べ人数	1,846人	559人	R3
53	暮らす	持ち家の割合	70.82%	72.30%	R2
54		延べ面積(1住宅当たり)	105.75㎡	100.54㎡	H30
55		公園総面積	38.05ha	38.49ha	R4
56		下水道処理人口普及率	57.60%	72.01%	R3
57		水洗化人口	42,880人	48,651人	R4

58		水洗化率	77.9%	88.5%	R4
59		市町村道舗装率	85.10%	85.80%	R3
60		世帯あたり自家用乗用車普及台数（乗用車・軽自動車（4輪）合計/年度末世帯数）	1.595台	1.576台	R3
61		汚水処理人口普及率	79.8%	89.2%	R4
62		市道路線数	1,327路線	1,397路線	R3
63		新設住宅着工戸数（木造・専用住宅）	215棟	236棟	R4
64		住宅延べ床面積（木造・専用住宅）	1,771,307㎡	1,969,806㎡	R4
65	学ぶ	幼稚園就園率	65.40%	22.90%	R3
66		高等学校等進学率	99.80%	99.80%	R4
67		大学等進学率	53.20%	51.83%	R3
68		人材バンク登録者数	72件	-	-
69		不登校児童・生徒出現率（千人当たり）	10.6人	20.9人	R4
70		図書館利用者数（図書貸し出し者数）	31,392人	41,923人	R4
71		睦大学学生数	898人	607人	R4
72	働く	労働力率	63.80%	64.30%	R2
73		完全失業率	6.89%	3.50%	R2
74		産業分類別就業者数・比率	第1次 1,374人 (5.18%) 第2次 5,683人 (21.46%) 第3次 19,067人 (72.01%)	第1次 1,336人 (4.67%) 第2次 6,075人 (21.23%) 第3次 20,592人 (71.95%)	R2
75		女性就業率	49.60%	53.32	R2
76		農家数（販売農家数）、農家世帯比率	878人/4.5%	-	-
77		経営耕地面積（販売農家）	2,535ha	-	-
78		耕作放棄面積（販売農家）	88ha	-	-
79		製造業 事業所数・従業者数	44事業所 1,650人	45事業所 1,993人	R2
80		製造品出荷額等	3,142,614万円	3,854,630万円	R2
81		商業 事業所数・従業者数	228事業所 2,235人	252事業所 2,491人	R3
82		年間商品販売額	101,463百万円	79,394百万円	R3
83		市町村内純生産	83,569百万円	-	-
84		市町村民所得（1人当たり）	2,342千円	2,476千円	R1
85		課税対象所得額（人口当たり）	2.52百万円	-	-
86		飲食店数	100件	91件	H28
87		小売業年間商品販売額	34,815百万円	41,217百万円	R3
88	昼夜間人口比率（昼間人口/夜間人口）	86.41%	84.59%	R2	

89	受け継ぐ	国・県指定文化財件数	国 3、県 3	国 3、県 3	R3
90		市指定文化財件数	15 件	18 件	R4
91		チャグチャグ馬コ行進馬数	88 頭	58 頭	R4
92		埋蔵文化財センター来場者数	2,735 人	2,123 人	R4
93	集う	ふるさと交流館利用者数	110,715 人	70,837 人	R4
94		市公民館利用者数	42,642 人	-	-
95		はつらつ元気館利用者数	5,799 人	2,649 人	R4
96		市内体育施設利用者数	164,845 人	121,652 人	R4
97	その他	市長・市議会議員選挙投票率	市長選挙	市議会議員選挙 43.28%	R5
			51.15%	市長選挙 44.49%	R4
98		財政力指数（3か年平均）	0.55	0.59	R3
99		自主財源比率	40.50%	33.50%	R3
100		地方税収額	4,872,638 千円	5,513,993 千円	R3

（５）主要指標の推移

全国的な少子高齢化社会の進展にあっても、人口が増加傾向にあった本市において、市の活力を測定する一つの目安として、「総人口 5 万 7 千人」を目標人口に据え、取組を展開してきました。

目標年度である令和 4 年 10 月 1 日時点の総人口は 55,377 人であり、目標の達成とはなりませんでした。

年度ごとの推移をみると、平成 27 年度から平成 29 年度までは概ね横ばいの数値で推移していましたが、平成 30 年度から徐々に人口が増え、令和 3 年度にピークを迎えました。令和 4 年度は前年度と比べ 300 人弱減少しており、本市総人口は今後も減少に転じてくることが予想されます。年齢別人口の推移をみても、年少人口、生産年齢人口の割合が減少し、高齢人口の割合が増加していることから、本市でも少子高齢化が進行していることが分かります。また、国勢調査における世帯構成の変化をみると、高齢者世帯（65 歳以上の夫と 60 歳以上の妻、夫婦 1 組のみの世帯＋高齢者単独世帯）の割合が大幅に増加、ひとり親世帯、単独世帯の割合も若干増加していることから、相対的に普通世帯の割合が減少しております。

経済的指標の推移をみると、市内総生産は、第 1 次産業が概ね横ばい、第 3 次産業が微増したことに加え、特にも第 2 次産業が 2 倍以上増加したことから、全体として増加しております。また、これに伴い、市民所得、人口一人当たりの市民所得の額も推計値を上回っている状態です。就業者数の推移は、生産年齢人口の割合が減少している中にあっても増加しており、多様な働き方が浸透していることが伺えます。産業別の割合に大きな変化はありませんが、第 1 次産業は減少傾向にあり、後継者、担い手が不足していることが予想されます。

(6) 滝沢市の将来像に向けた取組の評価

滝沢市自治基本条例が掲げる理念の実現に向け、市民の幸福感を育む環境づくりを促す、「市民主体の地域づくり」と、それを支える安全・安心の「セーフティネットの堅持」に取り組んできました。「幸福実感一覧表」や「暮らしやすさ一覧表」の結果から、いずれも目標値に届かない項目が多く課題は残るものの、平成26年度の基準値と比較すると上回る（改善されている）項目が全体の半数を超えています。

また、滝沢市自治基本条例に掲げた市民の思い（市民憲章・めざす地域の姿）を実現するための体系として、滝沢市トータルコミュニティマネジメントの考えに基づき取組を展開してきましたが、各ルールや目標、成果を図るための指標等を、その検証の時期も含めて明確に体系化することにより、市民、行政それぞれの取組が、滝沢市自治基本条例に掲げる思いを実現するための相乗的な役割を果たすことへの意識につながったものと考えられます。

以上の理由により、基本構想の期間においては、**「取組に一定の成果が見られ、将来像の実現に向けた進展が図られた」**ものと結論付けます。

(7) 第2次滝沢市総合計画基本構想への反映・つながり

滝沢市自治基本条例に定める「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向け、「幸福感を育む環境づくり」に取り組んできた第1次滝沢市総合計画基本構想については、前述のとおり一定の成果をあげたものと評価することができます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の市民生活への影響は大きく、幸福実感一覧指標の推移をみると、人とのかかわり、つながりが関係する指標のほとんどが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった令和元年、令和2年から減少に転じていることが確認できます。政府による行動の制限、自粛要請により、地域や学校、職場など、さまざまなコミュニティでの活動、催しの機会が奪われ、人とのかかわりが希薄になったことが要因の1つであると考えられますが、地域社会アンケートの結果を見ると、地域や隣近所、各コミュニティでの支えあう仕組みや付き合い、交流に関する重要度は高まっていることが確認でき、ポストコロナとなる今後においては、そのニーズを満たすような市民生活のサポートがこれまで以上に求められます。

また、世代別の状況をみると、自立・子育て世代と充実世代が、目標値の達成状況に加え、基準値と比較した状況においても他の世代に比べて取組の成果が芳しくないことが分かります。本市の大きな特徴である大学生を含めた若い世代や、子育てに注力する世代の幸福を考えると、多くの学びの機会を通じたさまざまな人やコミュニティとのつながりづくりの推進や、子どもを安心して産み育てることができる環境の整備が必要となってきます。また、滝沢市で暮らすという視点から、働く場の選択肢が広く確保されていることも重要な要素と言えます。

充実世代においては、それぞれの趣味、特技に打ち込む時間や機会を確保することに加え、それらを共有できるコミュニティの形成等の支援や下支えにより、生きがいややりがいを持って生活できる環境を整えることで、より幸福を実感することができるようになると考えられます。

さらに、ポストコロナに対応した新しい生活様式やSDGsに代表されるように、一人一人の価値観・嗜好・生活様式等の多様化が進む社会的潮流の中においては、それぞれの幸福を尊重することが大切であり、また、それを認めながら分かり合うことが求められています。市としては、お互いに認め合い、分かり合う雰囲気を醸成していくことが最も重要な考え方となってきます。

第2次滝沢市総合計画の策定に向け実施した市民の皆さんとの懇談、意見交換においては、「人が恋しい気持ちになった」といった意見や、心のゆとりを求める声、「自分が受けてきた恩恵を返していきたい」等、さまざまな意見が出されました。

滝沢市自治基本条例前文で謳う「思いやりのある社会の創造」という地域づくりの理念と、市民の皆さんから出たさまざまな意見、第1次滝沢市総合計画基本構想の取組により得られた課題を踏まえて考えると、第2次滝沢市総合計画基本構想においては、第1次滝沢市総合計画基本構想期間の取組により基盤が創られつつある「幸福感を育む環境」の中で、一人一人の価値観や多様性を認め、充実を図りながら、お互いを尊重し、ともに住みよい地域をつくること、「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向けて取り組むべき方向性と考えられます。

Ⅲ 第1次滝沢市総合計画後期基本計画の総括について

1 事業実施状況について

第1次滝沢市総合計画後期基本計画は、令和元年度から4年間で計画期間であり、この間は本計画を基に市政運営が行われ、令和4年度に期間が終了しました。

市では、本計画を総合計画基本構想で掲げる市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の実現に向けた市民と市行政が共に取り組む「地域社会行動計画」と位置付け、後期基本計画期間の4年間の公共が担うべき分野を明らかにし、計画的な行政サービスを展開してきました。

後期基本計画では、市民の幸福実感要素として最大のものである「健康」に関する健康づくりの取組みを代表的な『できること』として捉え、市の4年後の将来像を、健康づくりをはじめとした「幸せづくり活動が増えているまち」としました。

また、幸せづくり活動が増えていくためには、それを支える基盤としての雇用やセーフティネット、手段としての人とのつながりが重要となるため、これらを念頭に置き、「①健康づくりを通じた「幸せづくり」の加速を図ります」と、「②若者が定住できる受け皿を確保します」という2つの展開戦略を定めるとともに、基本構想で定める「めざすまちの姿」へ向け、6つの政策、33の基本施策、61の施策を設定し、毎年度400を超える事務事業を掲げて計画の推進を図ってきました。

2 各政策、基本施策、施策の評価と達成状況について

(1) 各政策、基本施策、施策の達成状況について

後期基本計画で設定した各政策、基本施策、施策について、令和4年度時点での目標達成に向けた取組の達成状況は以下のとおりです。

評価	政策		基本施策		施策	
	政策数	構成比	基本施策数	構成比	施策数	構成比
A 達成した	0	0.0%	5	15.2%	17	27.9%
B 概ね達成した	5	83.3%	27	81.8%	39	63.9%
C 一部達成した	1	16.7%	1	3.0%	5	8.2%
D 達成できなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

また、計画期間において毎年度事務事業の評価を実施し、社会環境の変化や市民ニーズの把握に努め、状況に応じた新規事業の実施や効果的な事務事業の実施に努めてきました。

後期基本計画期間の事業数、新規事業数及び決算額は以下のとおりです。

(単位：件、千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
事業数	417	398	397	413	1,625
新規事業数	11	8	4	8	31
事業費	21,047,431	22,538,510	22,790,992	23,290,358	89,667,291

後期基本計画期間の4年間は、各目標の設定時から社会情勢が大きく変化し、指標目標の達成には至らない状況も散見される結果となっています。そのような状況下において、「A

達成した」との評価割合は全体的に高くはないものの、全ての階層において80%以上が「B 概ね達成した」以上の評価となっていること、及び「D 達成できなかった」の評価が無かったことから、状況に応じ創意工夫を凝らしながら、行政としての役割を果たすべく取り組んできたことは良好な成果と評価することができます。各政策、基本施策、施策の達成状況及び目標指標の詳細については次のとおりです。

政 策	01 多様なつながりによって市民が行動しているまち
担当部長職・氏名	市民環境部長 久保 正秋

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想の基本的考え方との関連

社会情勢のたゆみない変化や個人の意識・生活の多様化が加速する中であって、市民が幸福を実感し安全・安心に暮らすために、一人一人が地域内や行政と多様なつながりを持ち、地域づくりのために行動するまちを目指します。

(2) (1) についての達成状況

C	一部達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・市民主体のまちづくり活動は新型コロナウイルス感染症の影響により縮小傾向となりましたが、自治会の在り方検討の支援、ICT ツールの活用による新たな活動手法の提供、地域活動の拠点整備などを推進しました。 ・地域防災リーダーの育成や防災意識の啓発等により地域防災力強化を図るとともに、各種教室や街頭指導等の活動を実施し、交通事故や犯罪のない安全なまちづくりに努めました。 ・第1次滝沢市環境基本計画を策定し今後の方向性を示すとともに、関係市町による協議を重ね盛岡広域環境組合を設立しました。 ・住民情報の適正管理を徹底するとともに、マイナンバーカードを活用した新たな窓口サービスを開始しました。 	

(3) 政策目標値の達成状況

No	政 策 目 標 指 標	基 準 値 (平成30年度)	目 標 値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率 (%)
1	地域活動に参加している人の割合 単位%	50.7	60	D
			42.0	△93.5
2	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位%	60.1	75	C
			62.7	17.4

(4) 今後の方向性・引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動への適切な支援が必要です。 ・地域防災力の維持向上が必要です。 ・カーボンニュートラルやごみ減量の必要性の再認識、再周知が必要です。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別計画の推進、地域づくり活動の拠点となる施設整備の促進が必要です。 ・ごみ処理広域化について、引き続き課題の具体化の協議が必要です。 ・自主防災組織の強化、連携が必要です。 ・地域に応じた多様な地域づくり活動への支援が必要です。 	

(5) 基本計画期間内の取り組みと方針についての各基本施策の達成状況

本政策内の基本施策数は4。各基本施策の令和4年度の取り組みと方針についての達成状況の評価は以下のとおり。

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基 本 施 策 : 01 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現

担 当 課 : 地域づくり推進課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・滝沢市地域コミュニティ基本条例の規定に基づき配置する地域づくり懇談会による地域別計画の活動支援を行いました。
- ・地域活動の拠点である自治会集会所の修繕支援を行いました。
- ・南巣子自治会集会所と室小路公民館の設置支援を行いました。
- ・指定管理者とともに公の施設の利用促進を行いました。

基 本 施 策 : 02 安全で安心できるまちづくり

担 当 課 : 防災防犯課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・消防事業では、コロナ禍の影響はありましたが、消防演習と出初式を実施しました。
- ・防災事業では、地域防災リーダー養成講座を実施しました。また、市総合防災訓練を実施しました。
- ・防犯交通安全事業では、交通指導員の街頭指導や交通安全教育専門員の交通安全教室及び少年補導員の防犯パトロール等の活動により交通事故及び犯罪の減少に努めました。

基 本 施 策 : 03 環境に配慮するまちづくり

担 当 課 : 環境課

令和4年度評価 : C 一部達成した

- ・新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、地域活動等が縮小傾向となり、各種イベントの参加者等の目標を達成できませんでした。
- ・たきざわ環境パートナー会議の活動や地域活動を支援し、環境保全、地球温暖化防止やごみの減量等の地域循環型社会の構築につながる環境に配慮したまちづくりに取り組みました。
- ・衛生指導員と協働して環境美化活動に取り組みました。

基 本 施 策 : 04 市民に信頼と安心感を与えられる窓口の対応

担 当 課 : 市民課

令和4年度評価 : A 達成した

- ・住民情報の適正な維持・管理を行いました。
- ・研修の参加や部署内での情報共有などにより、会計年度任用職員を含め専門知識を有する職員の養成を推進し、各種受付や問い合わせに対し分かりやすい説明、丁寧な対応が実施できました。

政 策	02 健やかで笑顔にあふれるまち
担当部長職・氏名	健康福祉部長 勝田 裕征

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想の基本的考え方との関連

市民一人ひとりが自分らしい幸福感を育むために、子どもから高齢者、障がいのある人もない人もそれぞれの役割を担い、地域の絆を大切にしながら、自助、互助、共助、公助が一体となって共に生き、健やかで笑顔にあふれて暮らしている状態を目指します。

(2) (1) についての達成状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幸福感を実感するための基本である「心身の健康」の保持増進のため、市民、地域、企業及び行政が一丸となって健康づくりを推進しました。 ・ 子育て支援のため、多様な保育等の確保や経済的支援の充実を図りました。 ・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化させました。 ・ 障がいのある人が地域等で安心して暮らせるよう、自立への支援を進めました。 ・ 生活保護をはじめとしたセーフティネット、社会保険制度の確実な実施に努めました。

(3) 政策目標値の達成状況

No	政 策 目 標 指 標	基 準 値 (平成30年 度)	目 標 値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率 (%)
1	自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位%	58.4	62	C
			60.8	66.7
2	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位%	60.1	75	C
			62.7	17.4

(4) 今後の方向性・引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の新たな展開である地域共生社会の実現に対する取り組みを行います。 ・ 健康寿命の延伸に向け、健康づくりを推進します。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの市民が参加する地域共生社会のつくり方 ・ 多くの市民が参加する健康づくりのあり方

(5) 基本計画期間内の取り組みと方針についての各基本施策の達成状況

本政策内の基本施策数は8。各基本施策の令和4年度の取り組みと方針についての達成状況の評価は以下のとおり。

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち

基 本 施 策 : 01 支えあう地域福祉の推進

担 当 課 : 地域福祉課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・地域福祉の課題を解決するために、人材づくり、地域づくり及び仕組みづくりを一体的に定める「滝沢市地域福祉計画」の推進及び同計画の次期計画策定により、地域のニーズの把握や各支援者との地域課題の共有を行うことが出来ました。
- ・障害者総合支援法、児童福祉法の制度に沿った障がい福祉サービス、地域生活支援事業等の円滑な提供が図られました。
- ・民生児童委員や人権擁護委員、市社協などの関係団体等と連携を図り、地域での見守り活動や相談体制の充実に努めました。

基 本 施 策 : 02 安心と希望のある生活への支援

担 当 課 : 生活福祉課

令和4年度評価 : A 達成した

- ・外部研修への参加等によりケースワーカーなど相談支援に当たる職員の育成や支援技術の向上を図ると共に庁内及び庁外の関係機関と随時連携し、生活保護運営体制の充実に図りました。
- ・生活困窮者自立支援制度に基づき、委託先の滝沢市社会福祉協議会及び関係機関と連携し、相談支援体制の充実に図りました。

基 本 施 策 : 03 子どもが安心して暮らせる環境づくり

担 当 課 : 児童福祉課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- 安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと健やかに育つように、次の各種事業を実施し、環境を整備しました。
- ・「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づく、幼児期の学校教育・保育のサービスの提供、放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、病児保育、ファミリー・サポートセンター事業等の地域子ども子育て支援事業の実施
- ・児童手当、児童扶養手当の支給による子育て世帯やひとり親世帯への支援
- ・滝沢市児童家庭相談援助ネットワーク会議等関係機関との連携強化による児童虐待防止と早期発見・対応

基本施策：04 安心して暮らせる長寿社会の実現

担当課：高齢者支援課

令和4年度評価：A 達成した

- ・「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境の構築に取り組みました。
- ・介護が必要な状態になっても安心して暮らすことができるように介護保険制度の適正な運営に努めました。特に介護保険制度改革に係る適切な対応を実施しました。
- ・セーフティネットである各種高齢者福祉対策や、住み慣れた地域でいきいきと暮らすために高齢者の社会参加等の支援を継続しました。

基本施策：05 地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

担当課：地域包括支援センター

令和4年度評価：B 概ね達成した

- ・「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、地域包括ケアシステムの推進に取り組みました。
- ・少子高齢化の進展に伴い、増加する高齢者の相談に対応するため、北部圏域に地域包括支援センターを設置し、連携を図りながら高齢者の支援を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した時期もありましたが、感染対策を講じた介護予防教室等の開催や、オンラインでの研修や面接の体制を整備し高齢者の自立支援に努めました。

基本施策：06 健康づくりを支える保健の充実

担当課：健康推進課

令和4年度評価：B 概ね達成した

- ・脳血管疾患の要因となる高血圧予防のため、ウォーキングマップを活用した新たな運動教室の開催や減塩の取組等を推進しました。
- ・がん予防のため、市民が安心して検診を受けられる環境づくりと検診申し込みはがきの改善等受診率向上に取り組みましたが、受診率は横ばい傾向であり、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。
- ・がん患者支援のため、医療用ウィッグ費用の一部助成を開始しました。
- ・安心して子どもを産み育てることができるよう、産婦健康診査や産後ケア事業を開始しました。

基本施策：07 健康づくりを支える新たな活動の推進

担当課：健康づくり政策課

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・健康寿命の延伸を目指し、健康づくり宣言参加団体が自主的に健康づくりに取り組むための支援を行いました。
- ・「健幸まちづくり（＝スマートウェルネスシティ）」の考え方を新たに施策に取り入れるための研究と事業企画を行いました。
- ・健康づくりに消極的な健康無関心層の行動変容を促すため、健康に関する正しい情報を伝える役割を担う人材を養成しました。
- ・自身の健康づくりの取組を数値で可視化し、成果を実感できるウォーキング事業を新規に開始しました。

基本施策：08 安心して暮らせる社会保険制度の維持

担当課：保険年金課

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・自分の健康状態を把握し、健康づくりに取り組むための国民健康保険特定健康診査や若年者健康診査について、推奨通知を送付し受診率の向上に努めました。
- ・各種医療費給付事業の受給者に対し、現物給付や償還払いにより所定の医療費給付を行うことで、対象世帯の経済的な負担を軽減することができました。また、子ども医療費給付事業については、対象者の拡充の検討を進めました。
- ・老後や死亡、障がいなどの万が一の場合に年金という経済的基盤が確保されることは、市民が幸福を実感するための重要な要素であることから、広報たきざわを活用して、国民年金被保険者に対し、各種届出や給付の相談について、啓発を行いました。

政 策	03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち
担当部長職・氏名	経済産業部長 木下 昇三

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想の基本的考え方との関連

<p>目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」です。各産業分野と労働力が、また滝沢市の特性や地域資源を活用しながら、交流人口、異業種連携、付加価値などによりバランスよく発展するとともに、市民や地域が潤っている状況です。</p>
--

(2) (1) についての達成状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産協会、チャグチャグ馬コ同好会、ビッグルーフ滝沢等と連携しながら各種イベントの検討や情報の発信を進めました。観光物産については既存の自然や文化を生かしながら、新たな観光資源を創るための協議や実証的なイベント等を開催しました。 ・イノベーションセンター、パークの誘致を進めるとともに、パークの拡張に向けた関係機関との協議を進めました。また、市内商工業者の生産性向上のため、物価高騰等の支援に取り組むとともに、滝沢市産業振興条例の浸透のため、産業振興会議の開催と市民、商工業者等とワークショップを開催しました。 ・農業の担い手不足の解消等のため、人・農地プランを基本とし、地域との協議を行い農業集積を進めました。また、岩洞水路の改修による基盤整備、相の沢牧場の円滑な運営による畜産振興を実施しました。さらには、森林環境譲与税を活用した意向調査を実施し、私有林の適正管理に向けた事務を進めました。また、産直・給食供給組合と連携し、学校給食などへの地元産食材の供給等産地消を推進しました。 	

(3) 政策目標値の達成状況

No	政 策 目 標 指 標	基 準 値 (平成30年度)	目 標 値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率 (%)
1	自分の仕事に満足している人の割合 単位%	55.1	61	D
			53.7	△23.7
2	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位%	36.3	50	D
			34.3	△14.6

(4) 今後の方向性・引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の動向、アフターコロナにおける経済動向の変化、人の価値観の変化など、アンテナを高くし、しっかりと情報収集しながら対応することが重要です。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナにおける新たな物産、観光の展開について関係機関と更なる連携の強化と新たな資源の創出 	

- ・イノベーションパークの拡張に向けた関係機関との協議と整備手法等の検討
- ・人・農地プランの実践と地域計画策定に向けた取組みの推進、森林環境譲与税を活用した私有林管理に向けた検討

(5) 基本計画期間内の取組みと方針についての各基本施策の達成状況

本政策内の基本施策数は3。各基本施策の令和4年度の取組みと方針についての達成状況の評価は以下のとおり。

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基 本 施 策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

担 当 課 : 観光物産課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

地域の潤いにつながる観光資源の発信については、一般社団法人滝沢市観光物産協会と連携してホームページ、SNS等を用いて各種情報発信を実施しました。また、物産振興については、地域産品をふるさと納税返礼品への活用などを通じて滝沢市の魅力を全国に発信する取組みを実施しました。

基 本 施 策 : 02 ICT関連企業集積と産学官連携の推進

担 当 課 : 企業振興課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・滝沢市IPUイノベーションセンターにおいて、新たに計4件の入居に結び付けました。
- ・産業用地の拡大に向け、令和3年度より、岩手県、岩手県立大学を含めた三者による検討延べ7回実施しました。
- ・令和2年度から令和4年度までの3年間、学生のアイデア創出イベント「滝沢イノベーションチャレンジ」を実施し、学生と企業との連携機会を創出し、人材育成及び地元愛着へつながる取組みを実施しました。
- ・令和3年度より「滝沢市産業振興条例」を施行し、行政、事業者、産業経済団体、金融機関、教育機関等及び市民が一体となって支える取組みを推進するため、「産業振興会議」を述べ5回実施しました。

基 本 施 策 : 03 農林業の振興と担い手の支援

担 当 課 : 農林課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・担い手育成については、3地区において地域ぐるみで農地中間管理事業に取り組み、うち2地区で法人が設置されるとともに、農地集積が進みました。
- ・森林環境譲与税を活用し、森林所有者の意向調査や現況調査を実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策として、農産物PR、畜産業者支援、収入保険加入促進、肥料価格等高騰対策等を実施し、農業者等を支援しました。

政 策	04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち
担当部長職・氏名	都市整備部長 長内 司善
	上下水道部長 及川 竜悦

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想の基本的考え方との関連

<p>生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことのできる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。</p>

(2) (1) についての達成状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・中心拠点商業地区の整備について、市街化区域編入後開発行為に向けた協議が進んでおり、交流と活力、雇用の拠点づくりを推進しました。 ・「滝沢市地域公共交通網形成計画」に基づき実証実験を行い、持続可能な公共交通について課題を取りまとめました。 ・持続可能な水道事業経営のため、滝沢市水道事業中期経営計画（後期）に基づき、コスト縮減と財源確保に取り組むとともに、第3次水道事業ビジョンを策定しました。 ・安全で強靱な水道を目指し、水源保全や施設の適正な維持管理を行うとともに、老朽施設の更新と耐震化を推進しました。 ・効率的な污水处理施設の整備と普及促進、適正な維持管理を行うとともに、アセットマネジメントを策定し、経営の健全化と基盤強化に取り組みました。 	

(3) 政策目標値の達成状況

No	政 策 目 標 指 標	基 準 値 (平成30年 度)	目 標 値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率 (%)
1	滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 <u>単位%</u>	74.1	80	B
			77.9	64.4
2	滝沢市に愛着がある人の割合 <u>単位%</u>	74.6	80	C
			75.6	18.5

(4) 今後の方向性・引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金の内示率が減少する中において、優先順位を考慮し事業展開を図る必要があります。 ・第3次水道事業ビジョン策定において重点課題とした「有収水量の減少」「更新需要の増大」「技術の継承」の克服に向け、更新計画の策定を進め、ビジョンで定めた施策を確実に実行することが必要です。 ・効率的な污水处理の実現のため、見直しを進めている経営戦略に基づき施設の改築計画を策定の上、下水道使用料改定を進める必要があります。 	

【引継課題】

- ・道路改築などの事業が計画的に進まないことから、国への要望活動や財源確保に向けた活動が必要です。
- ・協働除雪など市民との協働による事業を進める必要があります。
- ・今後必要となる水道料金及び下水道使用料の改定に向けて、利用者、使用者に必要性を理解してもらうための広報の充実と広報手段を検討する必要があります。

(5) 基本計画期間内の取り組みと方針についての各基本施策の達成状況

本政策内の基本施策数は6。各基本施策の令和4年度の取り組みと方針についての達成状況の評価は以下のとおり。

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基 本 施 策 : 01 活力ある都市づくりの推進

担 当 課 : 都市政策課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・市役所前の中心拠点商業地区の整備について、関係機関との協議や補助金の検討を行いました。
- ・空き家対策について、滝沢市空家等対策計画に基づき、特定空家等の認定と空き家の利活用策の検討を行いました。
- ・公園維持管理について、滝沢総合公園施設長寿命化計画及び滝沢市都市公園等遊具更新計画に基づき、滝沢総合公園及び一般公園を計画的に整備・更新を進めました。
- ・小岩井駅周辺整備について、公衆トイレ工事（解体・新築）が完了しました。また、駅舎改修について、地元自治会やJRと協議を行い事業推進を図りました。
- ・公共交通について、滝沢市地域公共交通網形成計画に基づき、実証運行や利用促進などの各施策に取り組みました。

基 本 施 策 : 02 計画的な道路整備と維持管理

担 当 課 : 道路課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・「道路整備計画」「道路維持管理計画」の更新に向け、現行の道路整備計画の事業進捗の整理及び道路修繕台帳の登載内容の精査を行いました。また、個別計画として「橋梁長寿命化修繕計画」の更新を行いました。
- ・住民主導の協働除雪を推進するため、協働除雪ハンドブックの作成、及び活用し協働除雪の浸透を図るとともに、展開を進めました。

基本施策：03 河川砂防・雨水排除施設の整備

担当課：河川課

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・河川や下水道（雨水施設）整備及び各施設の維持管理を行い、保全や河川の美化などの地域活動を推進、支援しました。
- ・自然災害の恐れのある個所について、国直轄事業及び県事業の推進に向けた要望活動と整備実施にかかる連携・協力を図りました。

基本施策：04 持続可能な水道経営

担当課：水道総務課

令和4年度評価： B 概ね達成した

持続可能な水道経営を実現するための運営指針となる滝沢市水道事業中期経営計画（後期）（令和元年度～4年度）に基づき、施策目標の達成に向け事業を展開しました。

- ・水道利用者に密着したサービスの向上
- ・広聴広報の充実
- ・財政の健全化
- ・人材育成と組織力の強化
- ・官民連携と広域連携の推進

基本施策：05 安全で強靱な水道の持続

担当課：水道整備課

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・「水安全計画」に基づき、水源の監視と浄水処理、水質検査を実施し、安全な水道水の供給を継続しました。
- ・「第3次水道事業ビジョン」策定に合わせ、整備内容等を見直し、水道施設の更新、耐震化を進めました。
- ・漏水防止対策の継続実施により、漏水率を維持しました。
- ・住民参加による応急給水訓練を実施し、災害対応体制を強化しました。
- ・組織、人員体制については外部研修の受講や外部委託による民間事業者との連携による技術水準の維持に努めました。

基本施策：06 効率的な汚水処理施設の整備・維持管理

担当課：下水道課

令和4年度評価： B 概ね達成した

国から示された令和8年度下水道施設の概成に向け、小岩井北処理分区、巣子第二処理分区及び滝沢駅前処理分区の整備を行いました。また、中長期施設改築計画の基盤となるアセットマネジメントを策定し今後の改築、更新に必要な、基盤を整備しました、更に、合併処理浄化槽設置に係る助成を実施することで、水洗化率の向上を図りました。

なお、下水道における有収率を向上させるため、鶴飼西分区での取付管更生工事及びマンホール蓋の交換による不明水対策を実施しました。

政 策	05 学びにより充実した人生を送ることができるまち
担当部長職・氏名	教育次長 久保 雪子

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想の基本的考え方との関連

全ての世代が学びによる幸福感を育めるよう、生涯にわたって学びあい、学んだことを生かせるとともに、伝統文化・芸術を次世代に継承し、ふるさとに愛着を持つことで、生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができるまちを目指します。

(2) (1) についての達成状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基盤については、学校 ICT 化をはじめとした学校施設設備を整備するなど、教育環境の充実を図りました。 ・学校教育については、滝沢市学校教育指導計画に基づき、「正義」と「信頼」の学校づくりを進めました。 ・学校給食については、地場産品等の活用を図りながら、安全安心で学校給食の提供し、食育の推進に努めました。 ・生涯学習については、生涯学習推進計画の展開や生涯スポーツの推進により、学びの環境の構築に努めました。 ・文化芸術については、文化施設の環境を整えるとともに、文化芸術や郷土芸能保存に係る活動を支援しました。 ・各施策や事業において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、以前の状態に戻りつつあります。 	

(3) 政策目標値の達成状況

No	政 策 目 標 指 標	基 準 値 (平成30年度)	目 標 値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率 (%)
1	子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 <u>単位%</u>	58.4	58.4	A
			60.2	100%以上
2	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 <u>単位%</u>	16.7	25	D
			13.5	△38.6

(4) 今後の方向性・引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代に即した教育施策を推進します。 ・滝沢の魅力を再発見し、学びを深め、滝沢への愛着を育成する「滝沢魅力学」の取組みを推進します。 ・学校・家庭・地域が「学校の応援団」として共に歩む、「学校教育振興協議会」による地域学校協働活動を支援します。 	

【引継課題】

- ・学校関係者や地域住民との対話を通じた「滝沢市の学校教育の在り方」の総合的な検討
- ・豊かな心の育成と多様な教育ニーズへの対応
- ・「滝沢魅力学」を通じた伝統文化や郷土芸能の次世代継承など、「学校教育振興協議会」による地域学校協働活動の推進
- ・学校施設や体育施設等の維持修繕と計画的な長寿命化

(5) 基本計画期間内の取り組みと方針についての各基本施策の達成状況

本政策内の基本施策数は5。各基本施策の令和4年度の取り組みと方針についての達成状況の評価は以下のとおり。

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基 本 施 策 : 01 生き生きと学習できる教育基盤の充実

担 当 課 : 教育総務課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・市内における少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ、中長期的な展望のもと学校の適正規模の在り方について、「滝沢市の学校教育の在り方検討委員会」を設置し、本市特有の教育環境を踏まえ検討を進めました。
- ・就学機会の機会均等のため、経済的に困窮している世帯に対し、継続して支援しました。
- ・学校 ICT 化に向けて、教育用及び校務用 PC や教育用タブレットを配備するとともに、校内 LAN ネットワークの整備を進めました。
- ・学校の施設、設備の老朽化に対応するため、施設改修を進めました。
- ・安全安心な教育施設の整備のため、鑑賞拡大防止対策を進めました。

基 本 施 策 : 02 「生きる力」を育てる学校教育の充実

担 当 課 : 学校教育指導課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・「確かな学力を育む教育の推進」については、わかる授業の推進及び家庭学習の充実を図るため、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善や人的支援に係る事業を実施し、教員の指導力の向上と学習環境の整備を目指しました。
- ・「豊かな人間性や社会性の育成」については、道徳教育の充実と特別支援教育の充実を図るため、道徳教育に係る公開講座を実施したり、支援員を配置するなど、教員の指導力の向上と支援体制の充実を目指しました。
- ・「健康・安全活動の支援」については、児童生徒の登下校中の安全を確保するため、通学路の点検やスクールガードによる見守り活動を組織的に実施したり、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、健康診断や学校環境衛生検査等を適正に実施したりして、健康かつ安心して学べる環境づくりの充実を目指しました。

基本施策：03 学校給食による望ましい食習慣の実現

担当課：学校給食センター

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・安全安心な学校給食を提供するため、地場農産物の使用を推進しました。
- ・学校給食を安全かつ確実に提供するため、施設設備の修繕を実施しました。
- ・給食への関心や食べることへの意欲を持たせることを目的に「希望献立」を実施しました。
- ・正しい食習慣を理解することを目的に「食に関する指導」を実施しました。

基本施策：04 生きがいを持てる学びの環境の構築

担当課：生涯学習スポーツ課

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・令和元年度から施行された第1次滝沢市生涯学習推進計画後期基本計画学びプランたきざわに基づき「生きがいを持てる学びの環境の構築」を促進し、生涯学習スポーツ活動を推進しました。
- ・学びプランたきざわに基づき、6つの重点（①生きがいを持てる学びの環境の構築、②少子化対策を通じた子どもが安心して学べる環境づくりの促進、③全庁規模による課題解決学習の展開、④若者活躍・定住による経済・地域活性化、⑤全ての世代を結ぶ学びの輪づくり、⑥スポーツによる「人・つながり・地域づくり」）を踏まえた総合教育政策に基づく市長部局と教育委員会などが連携強化した全庁規模による生涯学習推進ネットワーク形成に取り組みました。

基本施策：05 学びの環境の充実と文化芸能の継承

担当課：文化振興課

令和4年度評価： B 概ね達成した

- ・「学びの環境の充実と文化芸術継承の確立」の実現に向け、「学びの環境整備」の取り組みを行いました。
- ・「文化芸術活動の基盤強化」については、芸術文化協会の事務局体制を支援しました。芸術祭はコロナ禍により令和3年度は中止しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開催しました。また、郷土芸能まつりは、コロナ禍により令和2年度と令和3年度は中止しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開催しました。
- ・「学びプランたきざわ」の実現に向けて文化振興の施策を展開しました。

政 策	06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門
担当部長職・氏名	企画総務部長 佐藤 勝之

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想の基本的考え方との関連

次代への多様な環境変化の中にあっても、持続可能な行財政経営を支えるため、滝沢の価値と未来を創造する人材の育成と、課題解決に向けた組織力の強化、経営資源の確保と資源配分の最適化を進められる部門を目指します。

(2) (1) についての達成状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成基本計画に基づく人材育成を図るとともに、人事評価制度の円滑な運用を図りました。 ・総合計画の推進と次期総合計画策定に向けた取組を推進しました。 ・財政構造改革を推進し、基金保有高も増加傾向となるなど財政基盤は一定程度強化されました。 ・コロナ禍において国等の財源を有効に活用し、効果的な対策事業に資源を配分し事業を実施しました。 ・行政サービスの基盤となる各情報システムについて、セキュリティ対策強化を実施しつつ安定稼働の確保に努めました。 ・税務職員の資質の向上と適正課税の継続に努めました。 ・納税環境を整えるなど、税収納対策に継続的に取り組みました。

(3) 政策目標値の達成状況

No	政 策 目 標 指 標	基 準 値 (平成30年度)	目 標 値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率 (%)
1	滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 <u>単位%</u>	37	50	C
			39.4	18.5
2	滝沢市に愛着がある市民の割合 <u>単位%</u>	74.6	80	C
			75.6	18.5

(4) 今後の方向性・引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の着実な推進を図ります。 ・経営資源の確保と資源の最適化を継続します。 ・有事においても業務を継続できる体制と人材育成を図ります。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期総合計画の着実な推進 ・経営資源の確保 ・物価高騰や社会保障経費の増加等に対応するための財政運営 ・デジタル化への対応

(5) 基本計画期間内の取り組みと方針についての各施策の達成状況

本政策内の施策数は13。各施策の令和4年度の取り組みと方針についての達成状況の評価は以下のとおり。

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基 本 施 策 : 01 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

担 当 課 : 総務課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

- ・住民自治を支える職員の育成のため、講師を招いての内部研修を実施するとともに、岩手県市町村職員研修協議会等が開催する外部研修に職員を派遣し、滝沢市人材育成基本方針に基づき、職員の育成に努めました。新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、オンライン研修や動画を活用しての研修を行うなど、新たな手法にも取り組みました。
- ・規律ある行政運営を目指し、職員は基本法令を遵守し業務遂行に努めました。

基 本 施 策 : 02 総合計画の推進と未来の価値の創造

担 当 課 : 企画政策課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

後期基本計画の4年間では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という不測の事態によって、行動制限や活動自粛等様々な面において市政も影響を受けました。そのような状況にあっても、総合計画を軸としたマネジメントを推進するため、それを支える庁内調整、市民ニーズの把握、国勢調査をはじめとする各種統計調査を実施するとともに、SNS等を活用した市政情報の発信にも努めました。また、新型コロナウイルス感染症への対応として国のコロナ交付金を活用した事務事業等の調整を行いました。

基 本 施 策 : 03 行政経営を支える情報システム基盤の確保

担 当 課 : 情報システム課

令和4年度評価 : A 達成した

仮想化基盤を中心とした情報システムの安定稼働の確保については、セキュリティ対策等の強化を実施しつつ、後期基本計画の期間中の継続的な実施を達成しました。

また、経営資源である行政情報システムの最適化についても、後期基本計画の全期間を通して仮想化基盤への集約などを推進してきました。

基 本 施 策 : 04 次代につなげる財務基盤の確立

担 当 課 : 財務課

令和4年度評価 : B 概ね達成した

基金保有高も増加傾向となっており、財務基盤は一定程度強化されました。また、公共施設の長寿命化は今後もさらに実施していく必要があるものの、遊休資産等の売却を行うなど財産の有効活用を行い、財務基盤の安定化に役立てつつ効果的に財産管理を行いました。

基本施策：05 市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現

担当課：税務課

令和4年度評価：B 概ね達成した

- ・適切な番号制度の運用や事務の電子化を更に進めるとともに、各種研修により職員の資質向上を図り適正課税の継続に努めました。
- ・知識が継承できチェック体制が十分に機能する組織を検討し改善に取り組みました。

基本施策：06 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保

担当課：収納課

令和4年度評価：A 達成した

自主財源である市税の納期内納付を定着させるために、口座振替、コンビニ収納、クレジットカード収納などの納税環境の安定運用を実施しました。また、令和5年度から始まる地方税統一QRコード対応等の準備を行いました。

基本施策：07 市民に信頼される会計事務の実現

担当課：会計課

令和4年度評価：B 概ね達成した

- ・収支の均衡を的確に捉え、効果的な公金の管理及び運用に努めました。
- ・法令や財務規則等に則り、適正な審査と迅速な支払いを行いました。
- ・公金管理に対する認識と会計事務の知識を全庁で高めるため、研修会や日常的な事務指導を実施しました。

総合計画後期基本計画における施策評価一覧

政策名称	基本施策名称	施策名称	部名称	課名称	各年度評価			
					R4評価	R3評価	R2評価	R1評価
多様なつながりによって市民が行動しているまち	互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現	市民主体の地域づくり活動支援	市民環境部	地域づくり推進課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		市民活動拠点による賑わいの創出	市民環境部	地域づくり推進課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	安全で安心できるまちづくり	災害に強いまちづくりの推進	市民環境部	防災防犯課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		交通事故及び犯罪の減少による安全なまちの構築	市民環境部	防災防犯課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
	環境に配慮するまちづくり	住民協働による環境保全	市民環境部	環境課	C 一部達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	市民に信頼と安心感を与えられる窓口の対応	適正な窓口業務の推進	市民環境部	市民課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
健やかで笑顔にあふれるまち	支えあう地域福祉の推進	誰もが地域で共に暮らすための支援	健康福祉部	地域福祉課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
		みんなで支えあい安心して暮らすための支援	健康福祉部	地域福祉課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	安心と希望のある生活への支援	要保護者等への各種支援	健康福祉部	生活福祉課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
		生活に困窮している方への各種支援	健康福祉部	生活福祉課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
	子どもが安心して暮らせる環境づくり	子どもがすくすく育つ環境づくり	健康福祉部	児童福祉課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	A 達成した
		安心して子育てができる環境づくり	健康福祉部	児童福祉課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	A 達成した
	安心して暮らせる長寿社会の実現	支え合い暮らしていくための介護保険制度の運営	健康福祉部	高齢者支援課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
		高齢者が元気にいきいきと暮らすための支援	健康福祉部	高齢者支援課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
	地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現	互いに支える介護予防の推進	健康福祉部	地域包括支援センター	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	A 達成した
		包括的な高齢者支援の推進	健康福祉部	地域包括支援センター	B 概ね達成した	B 概ね達成した	A 達成した	A 達成した

総合計画後期基本計画における施策評価一覧

政策名称	基本施策名称	施策名称	部名称	課名称	各年度評価			
					R4評価	R3評価	R2評価	R1評価
	健康づくりを支える保健の充実	望ましい生活習慣の定着	健康福祉部	健康推進課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		安心して子供を産み育てるための支援	健康福祉部	健康推進課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	健康づくりを支える新たな活動の推進	みんなですすめる健康なまちの創造	健康福祉部	健康づくり政策課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	安心して暮らせる社会保険制度の維持	安定した医療制度の運営と実施	健康福祉部	保険年金課	C 一部達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		安心して医療を受けるための助成	健康福祉部	保険年金課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
		生活を支える年金の受給権確保の支援	健康福祉部	保険年金課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち	地域の潤いにつながる観光資源の発信	公民連携による観光まちづくり	経済産業部	観光物産課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		安定した雇用の確保	経済産業部	観光物産課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	ICT関連企業集積と産学官連携の推進	企業の誘致と支援	経済産業部	企業振興課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		ICT/IoT利活用と人材育成の推進	経済産業部	企業振興課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	農林業の振興と担い手の支援	担い手の育成、生産基盤の整備による持続的な農業の振興	経済産業部	農林課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		森林整備による林業の振興	経済産業部	農林課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち	活力ある都市づくりの推進	いつまでも住み続けたまちづくり	都市整備部	都市政策課	A 達成した	A 達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		みんなで考え、使い、育む公共交通	都市整備部	都市政策課	A 達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	計画的な道路整備と維持管理	安全・快適な幹線道路網の整備	都市整備部	道路課	C 一部達成した	C 一部達成した	C 一部達成した	C 一部達成した
		より安全で安心な道路環境の整備	都市整備部	道路課	C 一部達成した	C 一部達成した	C 一部達成した	C 一部達成した
	河川砂防・雨水排除施設の整備	安全安心な雨水排除施設の整備	都市整備部	河川課	C 一部達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
	持続可能な水道経営	水道経営基盤の充実	上下水道部	水道総務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	C 一部達成した	B 概ね達成した

総合計画後期基本計画における施策評価一覧

政策名称	基本施策名称	施策名称	部名称	課名称	各年度評価			
					R4評価	R3評価	R2評価	R1評価
	安全で強靱な水道の持続	安全な水道水の供給	上下水道部	水道整備課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		強靱な水道の整備と維持	上下水道部	水道整備課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	C 一部達成した	C 一部達成した
	効率的な汚水処理施設の整備・維持管理	環境にやさしく快適な下水道の整備	上下水道部	下水道課	A 達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		下水道経営基盤の充実	上下水道部	下水道課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
学びにより充実した人生を送ることができるまち	生き生きと学習できる教育基盤の充実	居心地の良い教育環境の充実	教育委員会	教育総務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		安全安心な教育施設の整備	教育委員会	教育総務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	「生きる力」を育てる学校教育の充実	確かな学力を育む教育の推進	教育委員会	学校教育指導課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		豊かな人間性や社会性の育成	教育委員会	学校教育指導課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		健康・安全活動の支援	教育委員会	学校教育指導課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	学校給食による望ましい食習慣の実現	安全安心な学校給食の提供と食育の推進	教育委員会	学校給食センター	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	A 達成した
	生きがいを持てる学びの環境の構築	学びによる生活の質の向上	教育委員会	生涯学習スポーツ課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		スポーツによる健康づくりの推進	教育委員会	生涯学習スポーツ課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	学びの環境の充実と文化芸術の継承	学べる・活かせる環境づくり	教育委員会	文化振興課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		文化芸術の振興	教育委員会	文化振興課	B 概ね達成した	C 一部達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した

総合計画後期基本計画における施策評価一覧

政策名称	基本施策名称	施策名称	部名称	課名称	各年度評価			
					R4評価	R3評価	R2評価	R1評価
次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門	市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築	住民自治を支える職員の育成と適切な人事管理	企画総務部	総務課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
		規律ある行政運営の確保	企画総務部	総務課	A 達成した	B 概ね達成した	A 達成した	D 達成できなかった
	総合計画の推進と未来の価値の創造	総合計画を軸としたマネジメントの推進	企画総務部	企画政策課	B 概ね達成した	C 一部達成した	D 達成できなかった	D 達成できなかった
		未来に向けた価値の創造	企画総務部	企画政策課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	C 一部達成した	C 一部達成した
		価値の創造に向けた情報の発信と活用	企画総務部	企画政策課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	行政経営を支える情報システム基盤の確保	行政情報システム基盤の円滑な運用	企画総務部	情報システム課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
	次代につなげる財務基盤の確立	住民自治を支える財務体質の確立	企画総務部	財務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	C 一部達成した
		公共施設等財産管理の推進	企画総務部	財務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	A 達成した	B 概ね達成した
	市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現	住民税・諸税の適正課税と電子化推進	企画総務部	税務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
		固定資産税の適正課税と電子化推進	企画総務部	税務課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した
	納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保	安定した歳入の確保	企画総務部	収納課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
		税の公平性と信頼の担保	企画総務部	収納課	A 達成した	A 達成した	A 達成した	A 達成した
	市民に信頼される会計事務の実現	適切な会計処理と確実な資金の運用	会計管理者	会計課	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した	B 概ね達成した

(2) 後期基本計画期間内の施策目標指標の進捗状況

各施策で設定した目標指標の令和4年度目標値と達成値を比較し、目標値に対する進捗率により、以下のとおりに評価しました。

「A おおむね順調に推移している」・・・進捗率100%以上

「B 基本計画策定時より一定程度進展している」・・・80%以上100%未満

「C 基本計画策定時より少しは進展している」・・・50%以上80%未満

「D 基本計画策定時から進展していない」・・・50%未満

各施策の目標指標の進捗状況は以下のとおりです。

評価	施策数	構成比
A おおむね順調に推移している	23	36.5%
B 基本計画策定時より一定程度進展している	2	3.2%
C 基本計画策定時より少しは進展している	18	28.6%
D 基本計画策定時から進展していない	20	31.7%

政策01 多様なつながりによって市民が行動しているまち（市民環境部）				
施策01 市民主体の地域づくり活動支援（地域づくり推進課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市はみんなが支え合うことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 <u>単位%</u>	44.7	55	D
			43.6	△10.7
施策02 市民活動拠点による賑わいの創出（地域づくり推進課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合 <u>単位%以上</u>	46.1	46.1	D
			43.9	0.0
施策01 災害に強いまちづくりの推進（防災防犯課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	災害に強いまちだと感じている人の割合 <u>単位%以上</u>	52.1	52.1	D
			51.7	0.0
施策02 交通事故及び犯罪の減少による安全なまちの構築（防災防犯課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	交通事故発生件数 <u>単位件以下</u>	71	71	A
			41	100%以上

施策 01 住民協働による環境保全（環境課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	1日当たりのごみ排出量（住民1人当たり） 単位 g	856	800	C
			853	5.4
施策 01 適正な窓口業務の推進（市民課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	窓口で説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合 単位 % 以上	76.3	76.3	A
			76.8	100% 以上
政策 02 健やかで笑顔にあふれるまち（健康福祉部）				
施策 01 誰もが地域で共に暮らすための支援（地域福祉課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合 単位 %	24.6	50	C
			26.9	9.1
施策 02 みんなで支えあい安心して暮らすための支援（地域福祉課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	44.7	55	D
			43.6	△10.7
施策 01 要保護者等への各種支援（生活福祉課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	44.7	55	D
			43.6	△10.7
施策 02 生活に困窮している方への各種支援（生活福祉課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	44.7	55	D
			43.6	△10.7
施策 01 子どもがすくすく育つ環境づくり（児童福祉課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	33.2	50	C
			33.3	0.6

施策 02 安心して子育てができる環境づくり（児童福祉課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合 <u>単位%以上</u>	83.2	83.2	D
			80.6	0.0
施策 01 支え合い暮らししていくための介護保険制度の運営（高齢者支援課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 <u>単位%</u>	21	21	A
			21.8	100%以上
施策 02 高齢者が元気にいきいきと暮らすための支援（高齢者支援課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 <u>単位%</u>	58.4	62	C
			60.8	66.7
施策 01 互いに支え合える介護予防の推進（地域包括支援センター）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	自分が心身ともに元気と感じている人の割合 <u>単位%</u>	58.4	62	C
			60.8	66.7
施策 02 包括的な高齢者支援の推進（地域包括支援センター）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 <u>単位%</u>	21	21	A
			21.8	100%以上
施策 01 望ましい生活習慣の定着（健康推進課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	自分が心身ともに元気と感じている人の割合 <u>単位%</u>	58.4	62	C
			60.8	66.7
施策 02 安心して子どもを産み育てるための支援（地域包括支援センター）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合 <u>単位%</u>	83.2	83.2	D
			80.6	0.0

施策 01 みんなですすめる健康なまちの創造（健康づくり政策課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市健康づくり宣言に参加している団体等の数 <u>単位団体</u>	133	145	B
			139	50.0
施策 01 安定した医療制度の運営と実施（保険年金課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 <u>単位%</u>	58.4	62	C
			60.8	66.7
施策 02 安心して医療を受けるための助成（保険年金課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 <u>単位%</u>	58.4	62	C
			60.8	66.7
施策 03 生活を支える年金の受給権確保の支援（保険年金課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 <u>単位%</u>	21	21	A
			21.8	100%以上
政策 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち（経済産業部）				
施策 01 公民連携による観光まちづくり（観光物産課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合 <u>単位%</u>	25.9	33	D
			17.6	△116.9
施策 02 安定した雇用の確保（観光物産課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	現在の仕事に満足している人の割合 <u>単位%</u>	55.1	61	D
			53.7	△23.7
施策 01 企業の誘致と支援（企業振興課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	IPU イノベーションセンター・パークへの立地件数（毎年4月1日） <u>単位社</u>	19	29	B
			28	90.0

施策 02 ICT/IoT 利活用と人材育成の推進（企業振興課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	セミナー、フォーラム等の交流事業の回数 単位回	78	124	A
			215	100%以上
施策 01 担い手の育成、生産基盤の整理による持続的な農業の振興（農林課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位%	58.6	58.6	D
			37.6	0.0
施策 02 森林整備による林業の振興（農林課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位%	76.2	83	C
			78.5	33.8
政策 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち（都市整備部・上下水道部）				
施策 01 いつまでも住み続けたいまちづくり（都市政策課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	住民基本台帳（9月末）による人口 単位人	55,211	57,000	C
			55,377	9.3
施策 02 みんなで考え、使い、育む公共交通（都市政策課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	市内のバスや電車は便利で利用しやすい と思っている人の割合 単位%	32.4	40	C
			34.7	30.3
施策 01 安全・快適な幹線道路網の整備（道路課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	交通事故発生件数 単位件以下	71	71	A
			41	100%以上
施策 02 より安全で安心な道路環境の整備（道路課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市に愛着がある人の割合 単位%	74.6	80	C
			75.6	18.5

施策 01 安全安心な雨水排除施設の整備（河川課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	災害に強いまちだと感じている人の割合 単位%	52.1	52.1	D
			51.7	0.0
施策 01 水道経営基盤の充実（水道総務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	経営資本営業利益率 単位%	1.57	1	A
			1.01	100%以上
施策 01 安全な水道水の供給（水道整備課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位%	75.5	75.5	A
			76.8	100%以上
施策 02 強靱な水道の整備と維持（水道整備課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	漏水率 単位%	8.7	6.5	A
			5.7	100%以上
施策 01 環境にやさしく快適な下水道の整備（下水道課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	水洗化率 単位%	81.4	84.9	A
			87	100%以上
施策 02 下水道経営基盤の充実（下水道課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	経営資本営業利益率 単位%	△0.64	△0.64	D
			△0.68	0.0
政策 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち（教育委員会）				
施策 01 居心地の良い教育環境の充実（教育総務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位%以上	58.4	58.4	A
			60.2	100%以上

施策 02 安全安心な教育施設の整備（教育総務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	学校トイレの環境改善率 単位%	76.6	90.9	A
			96	100%以上
施策 01 確かな学力を育む教育の推進（学校教育指導課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位%以上	93.8	93.8	D
			27.8	0.0
2	学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（中学校） 単位%以上	58.3	75	D
			50	△49.7
施策 02 豊かな人間性や社会性の育成（学校教育指導課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	1年間無欠席の児童生徒の割合 単位%以上	41.2	41.2	A
			58.2	100%以上
施策 03 健康・安全活動の支援（学校教育指導課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位%	33.2	50	C
			33.3	0.6
施策 01 安全安心な学校給食の提供と食育の推進（学校給食センター）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 単位kg	9,588	10,000	D
			6,208	△820.4
施策 01 学びによる生活の質の向上（生涯学習スポーツ課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位%	44.7	55	D
			43.6	△10.7
施策 02 スポーツによる健康づくりの推進（生涯学習スポーツ課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数 単位人	1,804	3,300	D
			1,407	△26.5

施策 01 学べる・活かせる環境づくり（文化振興課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合 <u>単位%</u>	25.7	31	D
			24.2	△28.3
施策 02 文化芸術の振興（文化振興課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数 <u>単位人以上</u>	2,630	2,630	A
			2,820	100%以上
政策 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門（企画総務部）				
施策 01 住民自治を支える職員の育成と適切な人事管理（総務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	職員の研修参加者数 <u>単位人</u>	337	345	A
			788	100%以上
施策 02 規律ある行政運営の確保（総務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 <u>単位%</u>	37	50	C
			39.4	18.5
施策 01 総合計画を軸としたマネジメントの推進（企画政策課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 <u>単位%</u>	74.1	80	C
			77.9	66.4
施策 02 未来に向けた滝沢の価値の創造（企画政策課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市に愛着がある人の割合 <u>単位%</u>	74.6	80	C
			75.6	18.5
施策 03 価値の創造に向けた情報の発信と活用（企画政策課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合 <u>単位%</u>	49.2	60	D
			45.0	△38.9

施策 01 行政情報システム基盤の円滑な運用（情報システム課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	システム安定稼働率 <u>単位%</u>	100	100	A
			100	100%以上
施策 01 住民自治を支える財務体質の確立（財務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	財政健全化判断比率（実質公債費率） <u>単位%</u>	7.2	5	C
			6.2	45.5
施策 02 公共施設等財産管理の推進（財務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 <u>単位%</u>	74.1	80	C
			77.9	66.4
施策 01 住民税・諸税の適正課税と電子化推進（税務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	電子申告等の利用率 <u>単位%</u>	56.8	65	A
			76.3	100%以上
施策 02 固定資産税の適正課税と電子化推進（税務課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	固定資産評価審査委員会の容認決定件数 <u>単位件</u>	0	0	A
			0	100%以上
施策 01 安定した歳入の確保（収納課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	納期内納付の割合 <u>単位%</u>	90.2	90.2	A
			93.2	100%以上
施策 02 税の公平性と信頼の担保（収納課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	一般税の収納率 <u>単位%</u>	97.8	97.8	A
			98.6	100%以上
2	目的税の収納率 <u>単位%</u>	86.1	86.1	A
			88.8	100%以上

施策 01 適切な会計処理と確実な資金の運用（会計課）				
No	施策目標指標	基準値 (平成30年度)	目標値	進捗状況
			令和4年度実績値	進捗率(%)
1	伝票返却率 単位%	9.9	6	A
			5.34	100%以上

(3) 展開戦略の取組と成果

後期基本計画の展開に当たっては、外部環境、内部環境、市民ニーズを分析し、めざすまちの実現に向け、「健康づくりを通じた幸せづくり」と、産業・雇用等を中心とした「若者定住」を2つの展開戦略と定め、各政策における幅広い分野での事業展開を図ってきました。

展開戦略① 健康づくりを通じた「幸せづくり」の加速を図ります

滝沢地域社会アンケートにより把握した市民ニーズにおいては、市民が幸せを考えるうえで最も重要な要素と考えていることが「心身の健康」でした。そのため、健康づくりを進めることは市民の幸せに繋がる具体的な取組の1つと捉え、様々な取組を行ってきました。

「健幸まちづくり＝スマートウェルネスシティ」の考えを基に、「健幸アンバサダー」の養成等による「健康無関心層」へのアプローチにより、自身の健康への関心を高めるための取組や、自らの健康状態を確認できる取組として「健幸ウォーキング事業」を展開することで、市民一人一人の健康づくりへの取組を推進してきました。主な取組の成果は以下のとおりです。

- ・令和2年度に作成したウォーキングマップを活用した運動教室の開催や、生活リズムを整えることからの生活習慣病予防について周知することができました。
- ・前計画を評価し、本市の健康課題と効果的な健康づくりに取り組むため、第3次滝沢市地域保健計画を策定しました。
- ・健幸ウォーキング事業の募集人数を拡大したほか、ウォーキングと組み合わせる効果を上げる運動教室を実施しました。
- ・令和3年度に実施できなかった健幸アンバサダー養成講座を再開しました。

展開戦略② 若者が定住できる受け皿を確保します

市内に2つの大学が立地していることや、市民の平均年齢が県内で最も若いということをも本市の強みと捉え、若者の定住に向けた環境整備に取り組んできました。

若者の定住には、企業集積や起業支援、異業種連携による「受け皿」の拡大に加え、仕事と子育ての両立等の「働き方」等、暮らしに多くの選択肢が必要です。また、滝沢市を知り「愛着」を持ってもらうことで、若い世代が中心となってまちに誇りや愛着を持ち、多様なライフスタイルが実現できることを知ってもらい、地元へ定住してもらうための取組を推進してきました。主な取組の成果は以下のとおりです。

- ・総合的な検討の結果、令和5年4月より子ども医療費給付事業の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯の支援幅を拡充することとしました。

- ・産業用地確保の検討のため、地権者との協議を開始するとともに、産業用地拡張整備に向けた ICT 産業集積調査業務を行いました。
- ・学生のアイデア創出のための事業として、「滝沢イノベーションチャレンジ」を実施しました。アフターコロナを見据え、すべてリアルイベント方式で開催し、学生と企業との密接な連携が図られました。
- ・コロナ禍に伴い大きなイベント等の実施は困難でしたが、若者定住に向けた、市内大学との連携事業を推進しました。また、まちづくりキットの取組や、インターネット上の動画配信等を通じて、市民の愛着づくり活動を展開しました。

3 第2次滝沢市総合計画前期基本計画策定に向けて

令和6年度を始期とし、第2次滝沢市総合計画基本構想における前半4年間の計画となる前期基本計画の策定に向けては、第1次滝沢市総合計画後期基本計画の4年間の政策、基本施策及び施策の効果や今後の課題を整理したうえで、市を取り巻く環境や、滝沢市が持っている内部・外部資源などの分析、さらに市民ニーズを加えた分析を行います。

第2次滝沢市総合計画では目指す状態として「やさしさに包まれた滝沢」を掲げており、実現に向けた取組みの方向性のうち、行政が主として担う分野は「かかわりによる市民主体活動を後押しできる環境づくり」と「市民主体による地域づくりを支えるための基盤となるセーフティネットの堅持」であると考えます。

市域全体計画が果たすべき役割

前期基本計画における市域全体計画の展開は、「やさしさに包まれた滝沢」に向けた取組の第一歩であり、その実現に大きく影響するものです。

個人のライフスタイルや生きがいを重視する価値観の変容や、コロナ禍により薄れたつながりやかかわりの再構築を促し、「かかわりによる市民主体の地域づくり」に向けた支援を進めるとともに、それらの活動を展開するための土台となるセーフティネット等を確保する必要があるため、**「市民主体の地域づくり活動への支援と市民生活の基盤の堅持」**を市域全体計画が果たすべき役割と捉え、引き続き取り組んでまいります。